

さいたま市
大宮盆栽美術館
年報

第15号



令和6(2024)年度

さいたま市
大宮盆栽美術館

さいたま市
大宮盆栽美術館
年報

第15号

令和6(2024)年度



目 次

I 概 要

1 設立の経緯	1
2 方針	1
3 沿革	1
4 組織	2
5 さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会	3
6 さいたま市盆栽資料等選考評価委員会	3
7 施設	4
8 展示室	5
(1) コレクションギャラリー	5
(2) 企画展示室	6
(3) 盆栽庭園	6
9 さいたま国際盆栽アカデミー実習場・培養場	7
10 コレクションガイド（館内検索システム）	7
11 映像コーナー	8
12 情報コーナー	8
13 ウェブサイト	8
14 盆美eガイド	9

II 展覧会事業

1 通常展	10
(1) 【季節の展示】盆栽展〈四季〉	10
(2) 【歴史と文化】盆栽クロニクル—年代記—	13
2 企画展・特別展	14
(1) さつき盆栽展	14
(2) 山水涼景～水石の世界	15
(3) 夏休み子どもぼんさい美術館	16
(4) 芭蕉の旅路～「盆石」で巡る	17
(5) 特別展 ウキヨエ植物大図鑑～「盆栽づくし」を楽しみつくす！	18
(6) 第33回 作家展（日本盆栽作家協会）	20

III 普及事業

1 定例講座	21
(1) 盆栽ワークショップ—はじめての盆栽づくり	21
(2) 子ども向けワークショップ—はじめての盆栽づくり	22
(3) 盆栽実技	22
(4) 盆栽相談デー	23
(5) ギャラリートーク	23
2 特別講座	24
(1) 夏休みワークショップ—こけ玉盆栽づくり	24

(2) 出張講座等	24
3 学校連携	25
(1) 学校見学	25
(2) 出張盆栽授業	26
(3) 埼玉県立浦和北高等学校・越谷西高等学校 盆栽作品展	26
(4) さいたま市立土呂中学校・第2学年美術科授業選抜作品展覧会「万才・溢彩・BONSAI」	27
(5) 職場体験、研修等の受け入れ	27
4 イベント	28
(1) ゆかた de 盆美	28
(2) 館外イベント出展事業（アウトリーチ活動）	28
5 ミュージアム・サポーターの活動	29
IV さいたま国際盆栽アカデミー	30
1 日本人向けコース	30
2 外国人向け中級コース（盆栽愛好者向け講座）	31
V 国際交流	32
1 米国立盆栽・盆景園との姉妹館交流	32
2 オーストラリア首都特別地域政府立キャンベラ樹木園との姉妹館交流	32
3 その他の交流	32
VI 調査研究および社会貢献活動	32
1 執筆・寄稿・講師・出演	32
VII 資料	33
1 購入資料	33
2 寄贈資料	33
3 収蔵資料利用	33
4 収蔵資料件数	33
5 図書寄贈者一覧	34
VIII 広報活動	35
1 ミュージアムレター「ジンシャリ」	35
2 公式 SNS の運用	35
3 主な広報実績	36
IX ミュージアムグッズ	36
X 入館者数等	37
1 入館者数	37
2 展覧会別入館者数（企画展・特別展）	37
3 外国人入館者数	38
4 施設利用	38
XI 条例・規則	38

I 概 要

1 設立の経緯

盆栽は、今日では日本が世界に誇るものとして、多くの人びとに親しまれている伝統文化である。大正12年（1923）の関東大震災を契機として誕生した、さいたま市北区内の「大宮盆栽村」は、日本屈指の盆栽園が集まる地域として、国内はもとより世界各国の盆栽愛好家の間でその名が知られている。

この貴重な地域資源である盆栽文化の振興・活用を図るため、さいたま市誕生以前の旧大宮市では、盆栽村地区及びその周辺一帯を文化・歴史・観光の拠点として整備する「盆栽公苑構想」を策定し、埼玉県との共同事業である「国際大宮盆栽会館（仮）」の整備を中心に、推進が図られた。平成13年にさいたま市となってからも、事業を継続し、埼玉県との共同事業によって、「盆栽公苑構想」の再構築を図り、平成17年3月、「さいたま市盆栽文化振興・活用基本構想」を策定した。

ここでは、盆栽文化の振興・活用を目的として、個性豊かな生活文化活動の推進、緑あふれるまちづくり、個性あふれる、愛着の持てるふるさとづくり、盆栽に関する産業の振興などを掲げた。また、盆栽文化の普及と活性化という振興戦略及び盆栽をテーマとした地域の活性化という活用戦略を設定し、その実現に向けた連携の仕組みとして、盆栽文化ネットワークを構築することとした。

このような視点のもと、平成18年度にさいたま市盆栽関連施設等基本計画を策定、平成19年度に旧高木コレクションの盆栽100点を含む資料523点を一括して購入した。大宮盆栽美術館は、こうした資料の調査研究、情報発信等を行うための拠点施設として整備されることになり、平成20年（2008）10月着工、平成22年（2010）3月28日、総合的な盆栽文化を発信する世界で初めての公立の「盆栽美術館」として開館した。

2 方 針

盆栽を中心として、盆器、水石、絵画資料、歴史・民俗資料などの紹介により、さいたま市の伝統産業にも指定されている盆栽の文化を、ひろく内外に発信することを目的に活動する。

活動の柱として、以下の3つの方針を掲げる。

1 盆栽に関わる研究センター

盆栽の歴史や意義を、多様な観点から研究してわかりやすく公開し、講座、講演会などの普及事業を開催する。

2 さいたま市の新しい観光拠点

盆栽のすばらしさに気軽に触れられる、さいたま市の新たな観光拠点を目指す。

3 盆栽産業活性化の一助

多くの方が盆栽に親しむきっかけをつくることで、伝統産業の活性化をはかる。

3 沿 革

平成18年(2006) 3月	文化芸術振興計画の策定（盆栽関連施設等事業を推進）
平成19年(2007) 3月	盆栽関連施設等整備基本計画の策定
平成19年(2007) 7月	埼玉県と盆栽関連施設に係る協定書の締結
平成19年(2007) 9月	埼玉県と土地無償賃貸契約の締結
平成20年(2008) 2月	旧高木コレクション（523点）購入
平成20年(2008) 4月	文化施設建設準備室設置
平成20年(2008) 10月	建設工事着工
平成21年(2009) 4月	大宮盆栽美術館開設準備委員会設置
平成21年(2009) 6月	さいたま市大宮盆栽美術館条例制定
平成21年(2009) 10月	文化施設建設準備室大宮盆栽美術館開設準備担当配置
平成22年(2010) 1月	大宮盆栽美術館竣工

平成22年(2010) 3月	さいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則制定
平成22年(2010) 3月	さいたま市大宮盆栽美術館開館
平成24年(2012) 1月	音声ガイド導入(同年4月から英語、中国語、韓国語を加えた4カ国語対応)
平成25年(2013) 4月	さいたま市大宮盆栽美術館ボランティア解説員設置
平成25年(2013) 7月	公式 Facebook 開設、運用
平成26年(2014) 4月	さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会規則施行・設置
平成27年(2015) 3月	英語版ページを拡充した改訂版公式ウェブサイト運用
平成27年(2015) 4月	さいたま市盆栽資料等選考評価委員会条例施行・設置
平成28年(2016) 2月	国際盆栽シンポジウム開催(2月11日、よみうり大手町ホール)
平成29年(2017) 3月	アカデミー実習場・培養場竣工
平成29年(2017) 3月	盆栽庭園垣根修繕、庭園南側植栽部撤去・懸崖台設置
平成29年(2017) 4月	第8回世界盆栽大会 in さいたま開催 サブ会場
平成29年(2017) 5月	さいたま国際盆栽アカデミー開講
平成29年(2017) 11月	累計来館者数 50 万人到達
平成29年(2017) 12月	公式 Instagram 開設、運用
平成30年(2018) 10月	無料英語ガイド「Welcome Monday」開始
平成31年(2019) 3月	盆栽庭園内ウッドデッキ設置
令和元年(2019) 8月	米国立盆栽・盆景園(米国農務省国立樹木園内)との姉妹館提携締結
令和2年(2020) 3月	中国語(簡・繁)及び韓国語版ページを拡充した改訂版公式ウェブサイト運用 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月2日から5月28日まで臨時休館
令和3年(2021) 3月	スマートフォンを利用したコレクションガイド「盆美eガイド」導入 撮影可能エリアを庭園全域及び企画展示室に拡大
令和5年(2023) 4月	既存のボランティア組織とさいたま国際盆栽アカデミー「中級修了者の会」 を統合し、新たなボランティア組織として「さいたま市大宮盆栽美術館 ミュージアム・サポーター」を設置
令和5年(2023) 11月	オーストラリア首都特別地域政府立キャンベラ樹木園との姉妹館提携締結
令和6年(2024) 8月	空調設備故障のため、8月9日から8月23日まで臨時休館
令和6年(2024) 11月	盆栽庭園の池の改修のため、11月5日から令和7年3月20日まで臨時休館

4 組 織

さいたま市
スポーツ文化局

局長 鶴田 達也

文化部

部長 川田 泰則

大宮盆栽美術館

館長 清水 一郎 (非常勤)

盆栽振興アドバイザー 山田登美男 (非常勤)

参事兼副館長 金子 淳一

管理係

主幹兼係長 松野 進

主査 山川麻衣子

主査 荒井 光弘

主任 深谷 正貴

国際交流員 タートン ハリー

事業係

主幹兼係長 田口 文哉(学芸員)

主査 菅原 千華(学芸員)

主査 中村 慎太(盆栽技師)

主任 中村 麗理

主任 小棚 明生(盆栽技師)

主事 立石 見雪

(令和7年3月31日付)

5 さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会

さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会規則に基づき、大宮盆栽美術館の適正な運営をはかるため、基本的な運営事項について審議し助言を得るために設置された。

(1) さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会名簿（10名）

	氏名	備考
委員長	小島孝夫	成城大学 文芸学部 教授
副委員長	大和田昌宏	(公社)さいたま観光国際協会 事務局次長
委員	池田伸子	埼玉県立歴史と民俗の博物館 学芸主幹
委員	砂生敏一	(株)埼玉新聞社 編集局長
委員	杉山正司	國學院大學 非常勤講師
委員	高嶋修一	青山学院大学 経済学部 教授
委員	谷中智恵子	ぼんさい遊々 監事(盆栽普及活動家)
委員	松澤純一	埼玉県産業労働部 観光課長
委員	三輪史	東日本旅客鉄道(株) 大宮支社 地域共創部 地域連携ユニット ユニットリーダー
委員	森紀与子	盆栽愛好家

(令和7年3月31日現在)

※委員以下五十音順

(2) 開催状況

	期日	場所
第1回	令和6年8月2日(金)	大宮盆栽美術館講座室
第2回	令和7年3月5日(水)	大宮盆栽美術館講座室

6 さいたま市盆栽資料等選考評価委員会

さいたま市盆栽資料等選考評価委員会条例に基づき、盆栽資料等の収集を適正に行うため、さいたま市の諮問に応じ、資料の選考及び評価を行うために設置された。

(1) さいたま市盆栽資料等選考評価委員会（4名）

	氏名	備考
委員長	平野恵	台東区立中央図書館 郷土・資料調査室 専門員
委員	池田伸子	埼玉県立歴史と民俗の博物館 学芸主幹
委員	今井昭一	日本盆栽協同組合 前理事長
委員	須藤雨伯	景道二世家元

任期 令和5年2月17日から令和7年2月16日まで

※委員以下五十音順

(2) 開催状況

	期日	場所
第1回	令和7年2月13日(木)	大宮盆栽美術館講座室

平成 22 年 1 月

7 施 設

設 計 高橋設計株式会社

建設工事

(1) 建物概要

所在地 さいたま市北区土呂町
2丁目24番地3

敷地面積 6,335.07 m²

延床面積 1,497.58 m²

構 造 鉄筋コンクリート造
(地下1階、地上2階)

建築・外構工事 佐伯・スミダ建設特定
共同企業体

機械設備工事 富士管工株式会社

電気設備工事 旭電気工業株式会社

展示設計・製作 株式会社丹青社

(2) 主要施設

1階：ロビー、ミュージアムショップ、映像
コーナー、コレクションギャラリー、企
画展示室、盆栽庭園、盆栽工房、事務室、
応接室

2階：講座室、盆栽テラス

地階：収蔵庫

(4) 収蔵庫概要

面 積：収蔵庫 1 183.12 m²
収蔵庫 2 43.15 m²

空 調：

収蔵庫 1 自然循環型、独立型除湿機設置

収蔵庫 2 フィルターを通して循環
除湿および加湿機を設置

* 室内に温湿度記録計を設置

温湿度設定 22℃ ± 2、55% ± 5

警備設備：カード感知式および鍵式施錠

火災報知：自動火災報知設備

消火設備：収蔵庫 1 ABC 粉末消火器

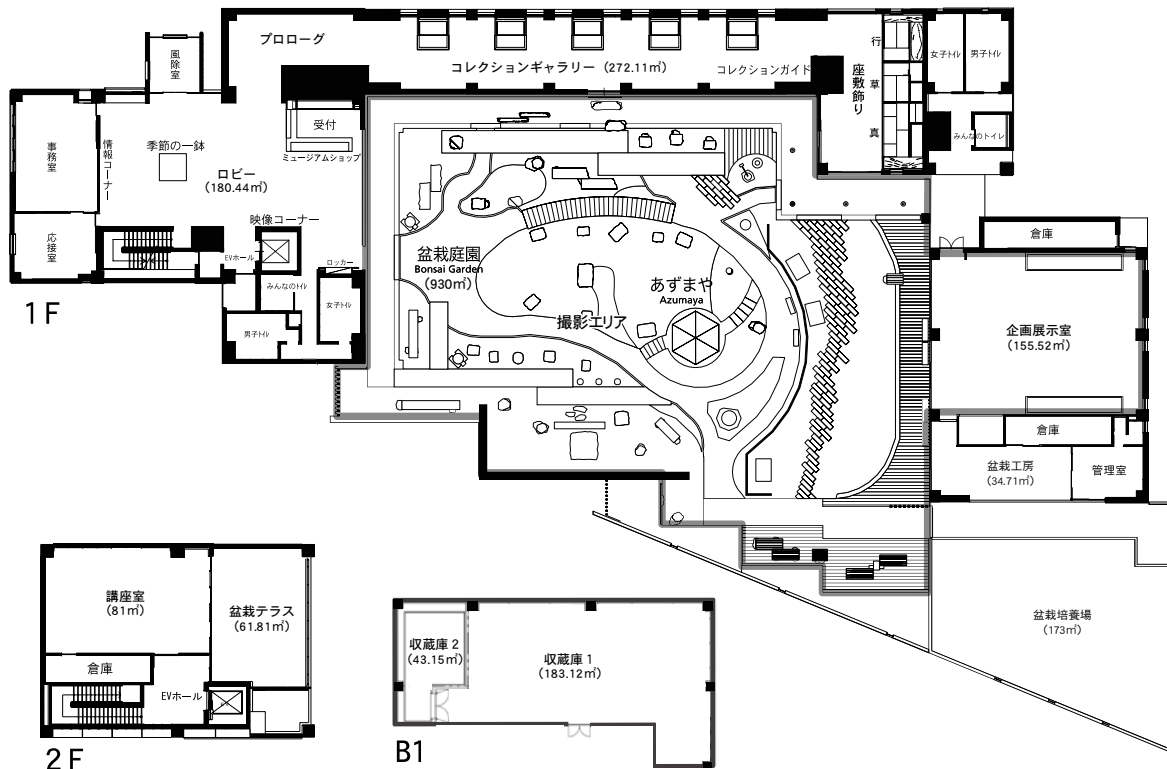
収蔵庫 2 ハロン化物消火設備

(3) 整備事業費

建設費 1,034,050,500 円

展示設計・展示製作 90,078,450 円

工 期 平成 20 年 10 月～



8 展示室

(1) コレクションギャラリー

当館のコレクションギャラリーは、プロローグ、ギャラリー、座敷飾りという、三つの空間で構成されており、主に通常展示を行う展示空間となっている。

プロローグでは、壁面パネルによって所蔵する盆栽をはじめ、盆器、水石、絵画、歴史・民俗資料を紹介し、続いて「盆栽を見るために」として、盆栽の鑑賞方法の基本を解説している。



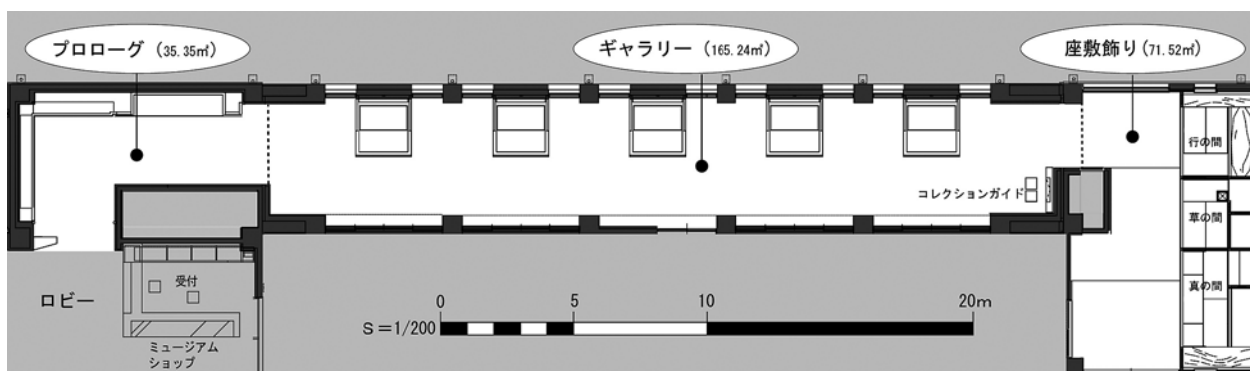
プロローグ



ギャラリー（プロローグ側より）

ギャラリーは、廊下状の空間に5台の専用展示台を設置し、盆栽用の室内展示空間としている。また、このギャラリーにはコレクションガイドが設置されている。

座敷飾りは、土間から一段高く作った、和室風の展示空間である。三つの座敷を横に並べた構造をとっており、それぞれ建材等を変えることで、真、行、草の様式の変化が判る構造としている。



コレクションギャラリー平面図

(2) 企画展示室

企画展示室は、盆栽以外の資料等による展示会場となる。

面積：155.52㎡

天井高：3.7m

設備：

壁付きケース（エアタイト式） 1基

壁付きケース（自然循環式） 1基

のぞき型可動式ケース（エアタイト式） 4台

外寸 D. 900 × W. 1800 × H. 1050 mm

行灯型可動式ケース（自然循環式） 3台

外寸 D. 900 × W. 900 × H. 2050 mm

可動壁 H. 3350 × W. 1250 mm 32枚

空調：

ロスナイ換気あるいは自然循環(24時間空調)

独立型除湿機設置、ケース内に調湿剤を併用

*室内およびケース内に温湿度記録計を設置

温湿度設定 20℃ ± 5、55% ± 5

警備設備：

開館時 警備員による巡視、監視カメラ設置

閉館時 機械警備（赤外線検知式）

火災報知：自動火災報知設備

消火設備：ABC 粉末消火器

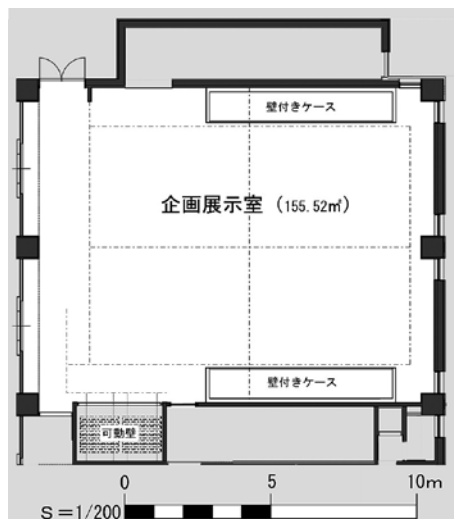
照明設備：照明器具

・LEDスポットライト（調光不可） 10台

・ハロゲンスポットライト（調光不可） 30台

・蛍光灯（UVカットタイプ・調光可） 8基

直射日光：外光遮断幕とUVカットフィルムを併用



企画展示室平面図

(3) 盆栽庭園

盆栽庭園は、日本庭園の様式を取り入れた回遊式の常設展示場である。夏季の日射を抑制するため、庭園東側及び南側一帯には寒冷紗を設置できる。

【沿革】

平成24年7月

庭園中央部に池を造成。

平成29年3月

庭園東側に設定していた撮影エリアと庭園境界部の垣根及び撮影エリアの結界を新調。また、庭園中央から南側の植栽を撤去し、固定式懸崖台及び可動式展示台を設置。展示点数50点から60点に拡大。

平成30年2月

撮影エリアを南側のデッキ部分まで拡大。

平成31年3月

庭園北側のつくばい部を整備し、ウッドデッキを新設。同ウッドデッキ及びあずまや内を撮影エリアとする。

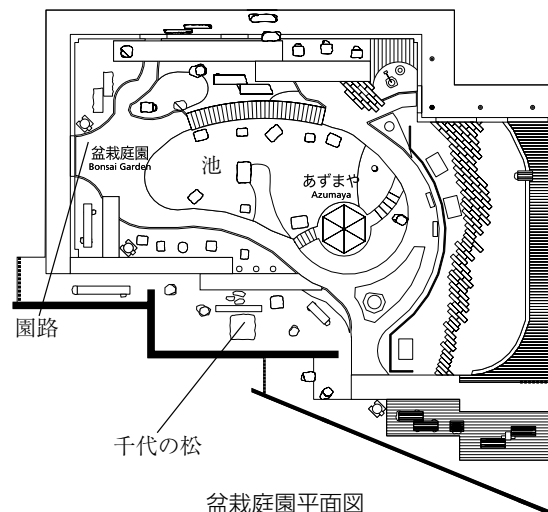
令和3年3月

撮影エリアを庭園全域に拡大。

令和7年3月

庭園中央の池を改修。あずまやの建つ築山まで池を拡張し、築山を利用して池の中央部に向けて低くなる四段の池を設けた。池周辺部には自然石を配し、谷へと水が下る山水の景を表現した。面積の大きな西端の池は水流を抑えて鏡面となるよう設計し、池中央の展示台上の盆栽を鏡写しとして鑑賞できる。

また、暑さ対策のため、池の周囲にミスト装置を設置した。



盆栽庭園平面図



盆栽庭園

9 さいたま国際盆栽アカデミー 実習場・培養場

さいたま国際盆栽アカデミーの教材の培養管理をする場所であり、一部の実技講座の際は、実際に作業をする場所として活用している。

森鷗外の息子である森於菟の旧邸があった土地であり、豊かな自然が、かつての別荘地の面影を残している。

所在地：さいたま市北区盆栽町 322 番地 2

敷地面積：1281.98 m²

竣工：平成 29 年 3 月



盆栽アカデミー実習場・培養場

10 コレクションガイド (館内検索システム)

当館の所蔵品である、盆栽および盆栽関連資料の情報や写真をアーカイブしている収蔵品データベースのうち、公開項目として登録した情報に一般来館者がアクセスできる端末（コレクションガ

イド）を設置している。

設置場所、台数

コレクションギャラリー、1 台

操作方法

タッチパネル式になっており、画面に表示されたボタン等のアイコンや写真等を指で触れてページの進行および後退、あるいは拡大縮小等进行操作する。

表示コンテンツ概要および内容細目

- 1 コレクション選択場面
 - 盆栽／盆栽以外の資料を選択
- 2 盆栽
 - 2-1 五葉松
 - 2-2 松、真柏等
 - 2-3 雑木の四季
- 3 盆栽以外の資料
 - 3-1 盆器
 - 3-2 卓
 - 3-3 水石
 - 3-4 絵画資料
 - 3-5 歴史・民俗資料

コレクションガイドに表示されるコンテンツは、当館の収蔵品データベースとリンクしている。収蔵品データベースのうち、公開情報として登録した資料および情報、写真がコレクションガイドから閲覧可能となる。



コレクションガイド

11 映像コーナー

盆栽文化への導入部として、無料空間であるロビーで以下の3本の映像を繰り返し放映している。3面マルチ大型画面の迫力と、簡単な英語を付しており、外国人にも人気が高いコーナーである。

- 1) 「盆栽 樹木と人の小宇宙」 2分9秒
- 2) 「盆栽の美 四季のうつろい」 2分2秒
- 3) 「歴史編」 3分14秒



映像コーナー

12 情報コーナー

ロビー内に観光情報を案内するコーナーとして設置した。埼玉県とさいたま市の主な観光施設を地図パネルとし、また観光パンフレットを置き、来館者が手軽に観光情報を知ることができるスペースである。

また、インフォメーションガイドとして、「大宮盆栽美術館からのお知らせ」、「盆栽関連のお知らせ」、「盆栽園情報」、「さいたま市イベント情報」をロビーに設けられた2台のディスプレイに掲示している。表示項目はイベント名、開催期間、開催場所、案内文（180字以内）と、画像である。



情報コーナー

13 ウェブサイト

施設案内、コレクション、盆栽についてなどの基本情報を掲載しているページについては、日本語、英語（以上、開設時から）、中国語（簡体字、繁体字）、韓国・朝鮮語（以上、令和2年3月から）の4言語5通りからなるウェブサイトとしている。

令和5年3月には一部の改修を行い、トップページに各種ページとリンクした「イベントカレンダー」ページを追加して閲覧の利便性を向上させ、ニュースレター「ジンシャリ」（45号）の大幅改定に合わせて、ウェブ版「ジンシャリ」ページを追加し、デジタル化の向上を図った。

サイトマップ

トップページ

—ニュース

—展覧会

—ワークショップ／イベント

—お知らせ

—ジンシャリ ※改訂

—休館日カレンダー

—イベントカレンダー ※新規

施設のご案内

—ごあいさつ

—館全体図・館内のご案内・サービス

コレクション

—盆栽

—盆器

—水石

—卓

—絵画資料等

—歴史・民俗資料

盆栽について

—盆栽の見方

—樹種と形態

—盆栽の技

—大宮盆栽村について

さいたま国際盆栽アカデミー

—目的・カリキュラム

- 修了者の活動紹介
- 新着情報
- 国際交流
 - 盆栽関連施設・機関との提携
 - 関連事業
 - 多言語対応
 - データで見る国際交流
- アクセス・ご利用案内
- リンク
- お問い合わせ

14 盆美eガイド

来館者の多くが所有するスマートフォンにより、展示品の解説を閲覧、視聴することのできるコレクションガイド「盆美eガイド」を導入した。

本ガイドに掲載される情報は、当館ホームページの収蔵品紹介ページ「コレクション」に紐づけられており、スマートフォンのブラウザ用に設計された専用ページにおいて、各コレクション情報（資料の情報及び写真）を閲覧できるものである。

また、従来から導入していた有料貸出形式のガイド端末「音声ガイド」に内蔵されていた各コレクションの音声解説データを搭載しており、資料情報の閲覧のみではなく、音声解説を聴取することもできる（資料番号 A-001～A-107 の盆栽のみ）。

使用に際して、利用者は「盆美eガイド」に接続後、館内掲示の資料キャプションに記載された資料番号（アルファベット1文字+資料番号3桁）を入力するだけで資料情報を閲覧することができる。

このような簡易的な操作方法とともに、特別なアプリケーションを必要としないことから、利用者の負担を軽減することが可能であり、運用上においては「コレクション」の更新内容が同期されるため、更新作業の合理化も図られている。

運用開始日

令和3年3月12日（金）

対応 OS

iOS 及び Android

対応言語

日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国・朝鮮語

利用方法

- ・館内に掲示したQRコード又はURLから「盆美eガイド」に接続する。

URL：https://www.bonsai-art-museum.jp/ja/eguide/

- ・館内掲示の資料キャプションに記載された資料番号を入力する。

利用について

- ・ロビー、ギャラリー、座敷飾りで音声データを聞く場合は、イヤホンの利用を必須とする。



検索画面

資料画面の一例

II 展覧会事業

1 通常展

当館の通常展（※令和2年度まで「常設展示」と称したが、展示の実状を反映して「通常展」と呼び変えた。）は、屋内のコレクションギャラリー及び屋外の盆栽庭園における盆栽を主とした展示、並びに企画展示室における盆栽の歴史・文化に関するパネル展示により構成されている。

令和3年度から、ギャラリー及び庭園における盆栽の展示を「【季節の展示】盆栽展〈四季〉」と称し、企画展示室における盆栽の歴史・文化に関する展示を「【歴史と文化】盆栽クロニクル－年代記－」と呼び、それぞれ通常展として開催した。

(1) 【季節の展示】盆栽展〈四季〉

コレクションギャラリーには、5台の専用ステージを設置し、続く座敷飾りの3室、また、ロビーの「季節の一鉢」を合わせ、全9席の盆栽等を常時展示し、盆栽については育成面を考慮して1週間ごとに展示替えを実施している。

盆栽庭園では、常時約60点の盆栽を展示して

おり、見ごろの季節や育成上の観点から、随時盆栽を移動している。

本展示では、四季折々に美しい姿へと変化する盆栽の魅力を多くの来館者に伝えるため、以下のようにひと月ごとに小テーマを設定して季節感を打ち出し、それぞれの時季に見ごろを迎える盆栽を選んで展示することで、「生きる芸術」と呼ばれる盆栽ならではの見どころを紹介した。

4月	芽吹き	の季節	9月	秋空	を背に
5月	新緑	の誘い	10月	爽秋	の風
6月	枝先	のしずく	11月	深まる	色
7月	こぼれる	陽光	3月	花告げる	春
8月	緑陰	の涼			

昨年度に引き続き、季節感を重視した当館所蔵品をはじめ、大宮盆栽村の各盆栽園が所蔵する見ごろを迎える盆栽の借用や、未公開作品の展示、多彩な掛幅との取り合わせによる席飾りの趣向に工夫を凝らし、毎週新たな設えで来館者を迎えられるよう展示内容の充実に努めた。

また、第15週の展示では、（一社）日本盆栽協会との共催により、同協会が認定・登録する「貴重盆栽」を紹介する特別展示「貴重盆栽展」を開催した。

出品作品一覧（ギャラリー・座敷飾り）

週	期 間	季節の一鉢	ギャラリー1	ギャラリー2	ギャラリー3	ギャラリー4	ギャラリー5	真の間	行の間	草の間
1	4月5日(金) 4月10日(水)	A-108 木蓮 D-041 黒色展示台	A-112 姫りんご D-041 潤山中透中卓	C-061 瀬田川石「武蔵野」 19-179 紫檀平卓	A-036 五葉松 D-054 紫檀幕板付机卓	B-166 瑠璃釉唐獅子牡 丹文石台 D-059 真塗二段卓	山もみじ D-082 六角高卓 添え セキショウ	A-089 杉 D-048 紫檀大平卓 E-078 秋吉則州「平常心是道」 脇床 タンチョウソウ	A-122 いわしで D-055 紫檀算木卓 E-040 作者不詳「山水図」	長寿梅 D-074 紫檀猫足中卓
2	4月12日(金) 4月17日(水)	小葉の髓菜 D-070 紫檀長方天 拜卓	宮様楓 九霞園 19-177 紫檀平卓	C-061 瀬田川石「武蔵野」 19-179 紫檀平卓	A-134 檜 D-029 天然彫高卓	B-166 瑠璃釉唐獅子牡 丹文石台 D-059 真塗二段卓	西洋鎌柄 D-022 班竹天 花梨算木中卓 添え アサギリ ソウ	A-018 五葉松「平安」 D-054 花梨幕板付机卓 E-083 秋吉則州「松樹千年翠」 脇床 チョウジュバイ	采振木 九霞園 D-004 紫檀竹節平卓	羽団扇楓と 三ツ手岩傘の 寄せ植え D-007 紫檀平卓
3	4月19日(金) 4月24日(水)	小楯 D-056 紫檀花輪型 高卓	A-121 日本鎌柄 D-001 紫檀飾付輪花 高卓 添え C-059 佐治川石	C-061 瀬田川石「武蔵野」 19-179 紫檀平卓	黒松 D-040 紫檀平卓 添え セキショウ	B-166 瑠璃釉唐獅子牡 丹文石台 D-059 真塗二段卓	檀 D-022 班竹天 花梨算木中卓	A-024 真柏 D-061 花梨幕板付机卓 E-075 福本積応「薫風自南来」 脇床 セキショウとユキノ シタの寄せ植え	定家かずら D-057 黒檀天然彫高卓 E-080 秋吉則州「無事は貴人」	山香ばし D-007 紫檀平卓

4	4月26日(金) 5月1日(水)	斑入り定家 かずら D-065 正方高卓	唐子木楓 九霞園 添え フイリ ユキノシタ	B-202.203 色絵金襴手武者 図丸鉢 D-041 潤山中透中卓	A-127 檜 19-177 紫檀平卓	C-067 古谷石 D-070 紫檀長方天拝卓	羽団扇楓と三 ツ手岩傘の寄 せ植え D-007 紫檀平卓 添え C-018 安倍川石	A-020 黒松「岩松庵」 D-061 花梨幕板付中卓 E-072 足立泰道「松風」 脇床 テイカカズラほ か寄せ植え	もみじ(紅千鳥) 芙蓉園 D-018 紫檀算木机卓 E-050 望月玉成「時鳥」 付書院 ツメレンゲ	アメリカ葛 D-075 紫檀高卓
5	5月3日(金) 5月8日(水)	岩がらみ D-076 紫檀卓	熊柳 九霞園 D-001 紫檀飾付輪花 高卓	B-202.203 色絵金襴手武 者図丸鉢 19-177 紫檀平卓	五葉松 藤樹園 C-059 佐治川石	C-067 古谷石 D-070 紫檀長方天拝卓	小真弓 D-065 正方高卓	A-007 真柏「寿雲」 D-052 紫檀喉付中卓 脇床 フイリフウチソ ウ、シラン、ゼンマイ の寄せ植え	A-086 いちよう D-027 花梨中卓 E-097 作者不詳「日日是好日」	小葉の雛菜 19-179 紫檀平卓 E-177 西澤笛畝 「菖蒲太刀」
6	5月10日(金) 5月15日(水)	「世界盆栽 の日」2024 記念特別展 示 さつき 一般社団法人 日本盆栽 協会	A-129 山もみじ (青枝垂れ) D-018 紫檀算木机卓	B-002 青磁唐草文輪 花鉢 D-059 真塗二段卓	真柏 藤樹園 添え ミセバ ヤ	C-063 加茂川石 D-004 紫檀竹節平卓	真弓 D-065 正方高卓 添え ユキノ シタ	A-068 黒松 D-061 花梨幕板付卓 E-083 秋吉則州「松樹千年翠」 脇床 セキショウとユ キノシタの寄せ植え	岩がらみ D-056 紫檀花梨高卓 E-041 下山圭堂「朝夏高聲」	檜 19-179 紫檀平卓
7	5月17日(木) 5月22日(金)	風知草 D-063 斑竹天紫檀 卓	A-076 山もみじ D-041 潤山中透中卓	B-002 青磁唐草文輪 花鉢 D-059 真塗二段卓	A-130 五葉松 D-054 紫檀幕板付机 卓 長板	C-063 加茂川石 D-004 紫檀竹節平卓	赤松 D-070 斑竹長方天拝 卓 添え ナチア ワモリショウ マ	A-028 津山檜 D-061 花梨幕板付中卓 E-176 平櫛田中 「青山流水太悠々」 脇床 ハゼ寄せ植え	A-047 もみじ(出狸々) 19-177 紫檀平卓 E-050 望月玉成「時鳥」	赤花升麻 19-179 紫檀平卓
8	6月7日(金) 6月12日(水)	花筏 D-007 紫檀平卓	A-077 山もみじ D-018 紫檀算木机卓	C-012 加茂川石 B-243 染付松竹梅図 長方水盤 D-027 花梨中卓	黒松 D-040 紫檀平卓 添え ナチア ワモリショウ マ	B-279 瑠璃釉琴高乘 輿 牡丹文長方鉢 D-041 潤山中透中卓	西洋鎌柄 D-022 斑竹天花梨算 木中卓 添え ホソバ ノギク	A-116 杜松 D-054 紫檀幕板付机卓 E-078 秋吉則州「平常心是道」 脇床 セキショウ	C-069 古谷石 D-060 紫檀大平卓 E-033 今尾景年「朧月」	花菖蒲 19-175 花梨平巻卓
9	6月14日(金) 6月19日(水)	夏藤 D-075 紫檀高卓	A-120 いわしで D-070 紫檀長方天拝 卓 添え アサギ リソウとネジ バナの寄せ植 え	C-012 加茂川石 B-243 染付松竹梅図 長方水盤 D-027 花梨中卓	A-134 檜 D-029 天然彫高卓	B-279 瑠璃釉琴高乘 輿 牡丹文長方鉢 D-041 潤山中透中卓	檜 19-179 紫檀平卓	A-089 杉 D-048 紫檀大平卓 E-076 秋吉則州「萬里一条鉄」 脇床 ノバラとホソバ ノギクの寄せ植え	C-069 古谷石 D-060 紫檀大平卓 E-033 今尾景年「朧月」 付書院 ナチアワモリ ショウマ	紫式部ほか寄 せ植え D-034 花梨甲玉透中 卓
10	6月21日(金) 6月26日(水)	吊花 D-014 紫檀細工古 鏡型中卓	A-114 檜 D-067 檜算木長方卓	B-154 染付龍山水文 六角鉢 D-059 真塗二段卓	A-103 一位 D-054 紫檀幕板付机 卓	C-027 馬淵川石 D-063 斑竹天紫檀卓	斑入り定家か ずら D-065 正方高卓	A-024 真柏 D-061 花梨幕板付中卓 E-082 秋吉則州「青山緑水」 脇床 フイリセキショ ウとフイリユキノシタ の寄せ植え	C-066 宮田川石 B-317 斑紫銅卍透文楕円水盤 D-021 斑竹天花梨透付卓 E-070 孤峰智瑛「行到水窮処」 付書院 フイリショタ イソウ	山もみじ (赤枝垂れ) D-074 紫檀猫足中卓
11	6月28日(金) 7月3日(水)	金水引と泡 盛升麻の寄 せ植え D-083 花梨地板	A-090 五葉松 19-177 紫檀平卓 長板	B-154 染付龍山水文 六角鉢 D-059 真塗二段卓	A-047 もみじ (出狸々) D-004 紫檀竹節平卓	C-027 馬淵川石 D-063 斑竹天紫檀卓	アメリカ葛 D-075 紫檀高卓 添え アサギ リソウとコガ ネシダの寄せ 植え	A-007 真柏「寿雲」 D-052 紫檀喉付中卓 脇床 シマフウチソウ	C-066 宮田川石 B-317 斑紫銅卍透文楕円水盤 D-021 斑竹天花梨透付卓 E-070 孤峰智瑛「行到水窮処」 付書院 ホタルツワブ キ	屋久島萩と細 葉野菊の寄せ 植え D-097 高卓
12	7月5日(金) 7月10日(水)	花筏 D-007 紫檀平卓	A-095 もみじ (獅子頭) D-067 檜算木長方卓	C-037 富士川瀧石 B-089 呂均袖楕円水 盤 D-070 紫檀長方天拝 卓	A-127 檜 19-177 紫檀平卓	B-170 染付朝顔文丸鉢 D-041 潤山中透中卓	夏藤 D-075 紫檀高卓 添え C-059 佐治川石	A-026 真柏 D-048 紫檀大平卓 脇床 C-033 加茂川石「龍淵」 付書院 ナチアワモリ ショウマ	C-064 掛斐川石 B-317 斑紫銅卍透文楕円水盤 D-021 斑竹天花梨透付卓 E-082 秋吉則州「青山緑水」 付書院 ショタイソウ	蓬萊竹 D-083 花梨地板

13	7月12日(金) 7月17日(水)	檜 D-022 班竹天花梨 算木中卓	宮様楓 九霞園 19-177 紫檀平卓	C-037 富士川瀧石 B-089 呂均軸棹円水 盤 D-070 紫檀長方天 拜卓	A-025 真柏 D-076 紫檀卓	B-170 染付朝顔文丸 鉢 D-041 潤山中透中卓	小真弓 D-065 正方高卓	A-064 黒松 D-054 紫檀幕板付机 卓 E-078 秋吉則州「平常心是道」 脇床 フイリセキシ ョウとフイリユキノシ タの寄せ植え	A-046 山もみじ D-044 紫檀喉付机卓 E-069 金山穆韶「好尚古人心」	紫式部ほか寄 せ植え D-034 花梨甲玉透中 卓 E-177 西澤笛畝「兎の 玩具図」 脇 御所人形 裸童(岩槻人形 博物館)
14	9月20日(金) 9月25日(水)	紫式部ほか寄 せ植え D-034 花梨甲玉透 中卓	A-077 山もみじ D-018 紫檀算木机卓	B-155 染付龍宝珠文 丸鉢 D-070 紫檀長方天 拜卓	黒松 D-040 紫檀平卓 添え セキシ ョウ	C-013 多摩川石「金剛」 19-173 喉付蔵文机卓	真弓 D-065 正方高卓 添え イタド リ	A-116 杜松 D-054 紫檀幕板付机 卓 E-078 秋吉則州「平常心是道」 脇床 セキショウ	A-129 山もみじ (青枝垂れ) D-055 紫檀算木卓 E-178 森村宜稲「蝙蝠新月図」	吊花 D-014 紫檀細工古鏡 型中卓 E-177 西澤笛畝「兎の 玩具図」 脇 御所人形 裸童(岩槻人形 博物館)
日本盆栽協会特別展示「貴重盆栽展」(一般社団法人日本盆栽協会共催)										
15	9月27日(金) 10月2日(水)	真柏「彩雲」 竹蓋雅幸	真柏 山田剛士	五葉松 大柿清	緋梅(大盃) 添え 観音石 小倉薫	真柏 久保俊昭	五葉松 内田照男	真柏「瑞龍」 脇床 木彫 五重塔 付書院 古谷石「峨眉 山」 大川功	真柏「竜雲」 添え ギボウシ 漆畑大雅	真柏 山本泰詩
16	10月4日(金) 10月9日(水)	山香ばし、 りんどう、 野菊ほか寄 せ植え D-083 花梨地板	A-112 姫りんご 19-177 紫檀平卓	C-011 加茂川石 B-299 蕎麦軸棹円水 盤 D-022 班竹天花梨算 木中卓	A-064 黒松 D-054 紫檀幕板付机 卓	C-031 好間川石「蒼潤」 D-070 紫檀長方天拜卓	小真弓 D-065 正方高卓	A-043 五葉松 D-053 紫檀幕板付机 卓 脇床 ハゼ寄せ植え	A-122 いわしで D-055 紫檀算木卓 E-033 今尾景年「臘月」	アメリカ葛 D-075 紫檀高卓
17	11月1日(金) 11月4日(月)	西洋鎌柄 19-179 紫檀平卓	A-114 櫻 D-067 櫻算木長方卓	B-137 白泥葡萄栗鼠 図長方鉢 D-041 潤山中透中卓	A-126 真柏 D-073 紫檀中卓 添え コガネ シダとヤブコ ウジの寄せ植 え	C-060 瀬田川石 D-059 真塗二段卓	真弓 D-065 正方高卓 添え ヤクシ マイトスキ とナンバンギ セルの寄せ植 え	アメリカ葛 D-075 紫檀高卓	A-047 もみじ(出狸々) D-004 紫檀竹節平卓 E-090 梅原文翠「散紅葉」	A-007 真柏「寿雲」 D-060 紫檀大平卓 脇床 リンド ウ、クマザサ、 チョウジュバ イの寄せ植え
18	3月14日(金) 3月19日(水) 内覧会	雪柳 19-175 花梨平巻卓	A-132 椿(永楽) D-041 潤山中透中卓	C-061 瀬田川石「武蔵 野」 19-179 紫檀平卓	A-134 檜 D-029 天然彫高卓	B-212 色絵唐子文六角 鉢 D-059 真塗二段卓	小葉の髓菜 D-070 紫檀長方天 拜卓	A-020 黒松「岩松庵」 D-061 花梨幕板付中 卓 E-083 秋吉則州「松樹千年翠」 脇床 チョウジュ バイ	A-114 櫻 D-067 櫻算木長方卓 E-087 月憺「三賢人」	土佐水木 D-026 天然彫地板 E-064 作者不詳「元禄 美人糸繰り」
19	3月21日(金) 3月26日(水)	A-132 椿(永楽) D-041 潤山中透中 卓	枝垂れ桜 D-064 紫檀丸高卓	C-061 瀬田川石「武蔵 野」 19-179 紫檀平卓	A-064 黒松 D-054 紫檀幕板付机 卓	B-212 色絵唐子文六角 鉢 D-059 真塗二段卓	小葉の髓菜 D-070 紫檀長方天 拜卓	A-024 真柏 D-061 花梨幕板付机 卓 E-076 秋吉則州「萬里一条鉄」 脇床 チョウジュ バイ	A-110 もみじ(清玄) D-004 紫檀竹節平卓 E-033 今尾景年「臘月」	土佐水木 D-026 天然彫地板 E-064 作者不詳「元禄 美人糸繰り」
20	3月28日(金) 4月2日(水)	A-076 山もみじ D-041 潤山中透中 卓	大鳥桜 D-099 天然彫地板	C-008 瀬田川石「春 暁」 D-040 紫檀平卓	A-126 真柏 D-073 紫檀中卓 添え ユキヤ ナギ	B-030.031 粉彩花卉文丸 鉢 D-055 紫檀算木卓	西洋鎌柄 D-022 班竹天花梨算 木中卓 添え マンネ ングサ	A-089 杉 D-048 紫檀大平卓 E-078 秋吉則州「平常心是道」 脇床 タンチョウソ ウ	A-095 もみじ(獅子頭) D-067 櫻算木長方卓 E-096 関牧翁「今日無事」	枝垂れ桜 D-064 紫檀丸高卓

(2) 【歴史と文化】盆栽クロニクル—年代記—

本展は、古代中国からはじまり、昭和初年の大宮盆栽村の誕生、そして平成元年の第1回世界盆栽大会の開催に至るまでの盆栽の歴史を紹介する常設のパネル展示である。

パネルのレイアウトは編年体により、各年代の

項目を視覚的に区切りつつ、パネル自体は会場の壁面を一周する造作とした。歴史の一連の流れの中で、盆栽の移り変わりを一覧できるような展示デザインである。

以上のパネル展示を常設化した上で、会場中央部のスペースにおいて、以下の一覧のとおり盆栽以外の収蔵資料の展示を行った。

出品資料一覧

No	資料番号	作者・著编者・発行所	資料名	制作年	形状・点数
「江戸のくらし 江戸の花」 4月6日(土)～5月1日(水)					
1	B-341	瀬戸焼	ルス貼付雲龍文大植木鉢	江戸時代後期(19世紀)	外縁丸・1点
2	E-019	歌川広重	忠臣蔵 四段目	文化12年～天保13年(1815～1842)	大判錦絵・1点
3	E-024	歌川広重	(盆栽売り)	文化12年～天保13年(1815～1842)	大判錦絵・1点
4	E-026	三代歌川豊国	植木売り 木咲の喜の助	弘化4年～嘉永5年(1847～1852)	大判錦絵・1点
5	E-140	喜多川歌麿	遊君七小町 扇屋 花扇 よしの たつた	江戸時代後期(19世紀)	大判錦絵・1点
「第3回・4回パリ万国博覧会関係資料」 4月6日(土)～5月22日(水)					
6	F-042	Bureaux(発行)	L'Exposition de Paris, Journal Hebdomadaire	1878年(明治11年)	典籍・1冊
7	F-043	Simon de Vandieres(著)、Calmann Levy(発行)	L'Exposition Universelle de 1878 Illustrée	1879年(明治12年)	典籍・1冊
8	F-045	Librairie illustrée(発行)	Les Merveilles de L'Exposition de 1889	1889年(明治22年)	典籍・1冊
9	F-046	Motteroz(発行)	Revue de L'Exposition Universelle de 1889	1889年(明治22年)頃	典籍・2冊
10	F-047	Figaro(発行)	Guide Bleu du Figaro et du Petit Journal Exposition de 1889 un Franc	1889年(明治22年)頃	典籍・1冊
「江戸のくらし 江戸の花」 5月3日(金祝)～6月2日(日)					
11	B-169	瀬戸焼	瑠璃釉染付群鶴波濤文丸鉢	明治時代	外縁丸・1点
12	E-110	尾形月耕	婦人風俗尽 縫模様	明治24年(1891)	大判錦絵・1点
13	E-142	楊斎延一	東風俗 美人之音楽	明治23年(1890)	大判錦絵3枚続
14	E-146	豊原国周	見立昼夜廿四時之内 午后四時	明治23年(1890)9月印刷、10月出版	大判錦絵・1点
15	E-149	楊洲周延	十二ひと絵 卯月の深見艸	明治30年(1897)	大判錦絵・1点
「木部米吉関係資料」 5月24日(金)～7月3日(水)					
16	F-173	木部米吉(著)、三銀水石園(発行)	『盆栽培養法』	明治36年(1903)	典籍・1冊
17	F-172	木部米吉(著)、苔香園(発行)	『盆栽培養法秘訣』	明治44年(1911)	典籍・1冊
18	F-119	東洋園芸会(発行)	『東洋園芸界』4月の巻	明治41年(1908)5月2日	雑誌・2冊
19	F-119	東洋園芸会(発行)	『東洋園芸界』第2年2月の巻	明治42年(1909)2月20日	雑誌・1冊
「江戸のくらし 江戸の花」 6月7日(金)～7月3日(水)					
20	E-030	楊洲周延	やまと風俗女礼式	明治25年(1892)4月20日	大判錦絵3枚続
21	E-127	水野年方	美人奇石会縦覧之図	明治29年(1896)	大判錦絵3枚続
22	E-128	歌川国貞	子宝遊	文化12年～天保13年(1815～1842)	大判錦絵・1点
23	E-147	肉亭夏良、河鍋暁斎	東京開化名勝 浅草奥山花屋舗	明治8年(1875)9月	大判錦絵・1点
「浮世絵の版元・葛屋重三郎と葛屋吉蔵」 令和7年3月21日(金)～4月23日(水)					
24	E-022	三代歌川豊国	おぼほうの六三、粧坂ノかしく、船越十右衛門	弘化4年～嘉永5年(1847～1852)	大判錦絵2枚続
25	E-111	三代歌川豊国	名妓三十六佳撰 花扇の話	文久元年(1861)1月	大判錦絵・1点
26	E-112	三代歌川豊国	名妓三十六佳撰 瀧川	文久元年(1861)12月	大判錦絵・1点
27	E-167	三代歌川豊国	源氏絵(松の鉢植)	弘化4年～嘉永5年(1847～1852)	大判錦絵3枚続
28	B-147	宜興窯(中国江蘇省宜兴市)	桃花泥長方鉢	中国・清時代(19世紀)	外縁長方・1点
29	B-160	有田焼(佐賀県有田町)	染付七宝文丸鉢	明治時代(1868～1912)	外縁丸・1点
「盆栽美術展のさきがけ」 令和7年3月21日(金)～4月23日(水)					
30	F-100	田口旭松(著)	『美術盆栽図』	明治25年(1892)	典籍・3冊
31	F-078	木曾庄七(著)	『盆栽瓶花聚楽会図録』	明治36年(1903)12月30日	典籍・2冊

2 企画展・特別展

コレクションギャラリー及び企画展示室における借用品や共催による展示、また、盆栽に関連する美術作品や歴史資料を用いたテーマ性のある展示を、開催規模により企画展又は特別展として開催している。

令和6年度は、以下に挙げるとおり企画展5回、特別展1回を開催した。

(1) さつき盆栽展

会 期：5月24日（金）～6月2日（日） 9日間

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館

協 力：磯部緑園

会 場：ロビー、コレクションギャラリー

出品席数：18席（1週9席）

関連事業：

さつき盆栽デモンストレーション「花後の剪定」

日時：6月2日（日）14:00～15:30

講師：磯部繁男氏（磯部緑園）

参加者数：94人

印刷物：ポスター B1判2枚、B2判50枚

チラシ A4判3,000枚

入館者数：2,175人（242人／1日）

担 当：田口文哉

開催概要：

本展は、見ごろを迎えるさつき盆栽を特集した展覧会である。平成24年度から継続的に実施し、コロナ禍における休止や規模縮小はあったが、本年度で11回目となる。

出品物は、引き続きさいたま市緑区のさつき盆栽園・磯部緑園から借用した。同園の磯部繁男氏は、プロのさつき盆栽家による展示会「皐樹展」における最高賞を最多受賞する第一人者であり、本展は磯部氏の定期的個展の性格も有している。

さつきの開花期としては比較的遅い時期の展覧会であるため、磯部氏による例年の難しい開花調整を経て、本展でも満開のさつきを展示することができ、リピーターの多い本展への期待に応えることができた。

また、会期最終日の定番となった公開デモンストレーションでは、昨年度に引き続き磯部氏のほか、ご子息（長男・次男）が共に作業に従事する進行となり、ロビーにおいて展示中の満開のさつきを題材にして剪定技術が披露され、磯部氏の丁寧な解説もあって多くの観覧者を得た。

平成29年度からはじめた剪定芽を挿し芽として持ち帰っていただくサービスについては、前回までの参加者が花を咲かせた状態で持ち寄ってくださり、リピーターの方との再会もうれしい一幕であった。生きる芸術だからこそその可能性ある試みを引き続き繋げていきたい。

出品作品一覧 ※すべて磯部緑園所蔵

5月24日（金）～5月29日（水）	
場所	品種名
ロビー	りん
ギャラリー1	一生の春
ギャラリー2	紫王（添え）白琳、ヒトツバ
ギャラリー3	金采（添え）ヤクシマギボウシ
ギャラリー4	蜀紅錦（添え）フウチソウ
ギャラリー5	光琳
真の間	大盃（脇床）博多白（付書院）紫光の月
行の間	紫光の月（添え）ヤグルマソウ（付書院）ミセバヤ
草の間	光琳（脇床）難波錦
5月31日（金）～6月2日（日）	
場所	品種名
ロビー	乙女の春
ギャラリー1	白糸の滝（添え）ナチアワモリショウマ
ギャラリー2	紺桔梗（添え）ヒメイタドリ
ギャラリー3	寿光（添え）ヤクシマギボウシ
ギャラリー4	さとう錦（添え）ヒトツバ
ギャラリー5	博多白（添え）ヤグルマソウ
真の間	松波（脇床）紅梅（付書院）珍山
行の間	日光（添え）コガネシダ、ダイヤモンドソウほか寄せ植え苔玉
草の間	玉織姫（脇床）見一品



ポスター

デモンストレーション

(2) 山水涼景～水石の世界

会 期：7月19日(金)～9月4日(水) 29日間

前期 7月19日～8月7日

後期 8月24日～9月4日

※8月9日(金)～23日(金)臨時休館

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館、
一般社団法人日本水石協会

会 場：ロビー、コレクションギャラリー

出品席数：18席(前後期9席ずつ)

関連事業：

ギャラリートーク

日 時：①7月20日(土)、②8月4日(日)

③9月1日(日)いずれも13:30～

講 師：①森前誠二(日本水石協会)

②担当職員

③加藤崇寿(日本水石協会)

参加者数：①25人、②13人、③17人

印刷物：ポスター B1判3枚、B2判35枚

チラシ A4判2,500枚

入館者数：3,955人(136人/1日)

担 当：立石見雪、菅原千華

開催概要：

盆栽とともに歩んできた古い歴史を持つ「水石」の魅力を紹介する展覧会である。自然の石の形状に山や海辺の風景などを見出して鑑賞する水石は、長い歴史によって育まれた独自の美意識を持つ。小さな石の中に大自然を見出す姿勢は盆栽と共通するものである。

当館では毎年夏の時季に一般社団法人日本水石協会との共催で水石展を開催し、主に涼景を感じさせる山水景石や代表的な形状の作品を展示し、わかりやすく水石の世界を紹介してきた。

本年度は、水石界でも名の知られた名石が出品され、全体を通して、水を感じさせる涼やかな色彩の水盤飾りなど、季節感のある席飾りを展観できた。

なお、8月9日(金)から23日(金)まで、空調設備の故障によって臨時休館となり、後期の展示期間は当初8月9日(金)から28日(水)までであったが、8月24日(土)から9月4日(水)までに変

更した。

関連事業については、ギャラリートークを実施し、実際に展示品を見ながら解説することで、質感や肌合いといった水石ならではの味わいを参加者に伝えることができた。

出品作品一覧

前期 7月19日～8月7日		
場所	名称	所蔵者
ロビー	八海山石 銘「天塚湖」	石内勉
ギャラリー1	抹香石	嶋津直幸
ギャラリー2	佐治川石	寺内幸夫
ギャラリー3	古谷石 加茂川石 貴船石	半田太
ギャラリー4	八瀬棠立真黒石	山口進
ギャラリー5	揖斐川石	船山秋英
真の間	安倍川石 銘「溪声山色」	廣瀬幸夫
行の間	貴船糸掛石 銘「起雲」	不動菴
草の間	加茂川石 銘「華恵留」	本出小左衛門
後期 8月24日～9月4日		
場所	名称	所蔵者
ロビー	八海山石 銘「天塚湖」	石内勉
ギャラリー1	多摩川石	大川博行
ギャラリー2	伊予石	サミ・アムドゥニ
ギャラリー3	安倍川石	金原東憲
ギャラリー4	藤枝縮緬石	金慶樺
ギャラリー5	加茂川石	田中邦昭
真の間	佐治川石	大川功
行の間	揖斐川石 銘「蒼韻橋」	小西泰斗
草の間	古谷石 銘「金剛剣」	クリストフ・クルーズ



ポスター



八海山石 銘「天塚湖」

(3) 夏休み子どもぼんさい美術館

会 期：7月20日(土)～8月28日(水) 22日間
※8月9日(金)～23日(金)臨時休館

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館

会 場：企画展示室、講座室

出品点数：パネル 14 点(B1)

盆栽玩具：153 点 (23 種類)

展示構成：

- 1 盆栽ってなに？
- 2 いろいろな盆栽
- 3 盆栽のふしぎ
- 4 盆栽のむかしといま
- 5 盆栽をはじめてみよう
- 6 盆栽にさわってみよう

関連事業：

- 1 夏休みワークショップ—こけ玉盆栽づくり
- 2 「盆栽博士ちゃん 清水ちえりさんによる盆栽講座」

日時：7月27日(土) 10:15～11:15

講師：清水ちえり氏

参加者数：18 人

印刷物：ポスター B1判 3枚、B2判 50枚

A3判 4,300枚

チラシ A4判 77,000枚

学習ノート (5枚1組)

入館者数：2,993人 (136人/1日)

担 当：中村麗理、菅原千華

開催概要：

小中学校の夏休み期間に、子ども向けに開催しているパネル形式の展覧会である。本展用に製作した「学習ノート」を希望者に配布し、パネルを参照してノートの質問に回答することで、盆栽の基本について学ぶことのできるプログラムである。学習ノートの問題に回答した小中学生への景品プレゼントと、さいたま市立漫画会館との連携を昨年度に引き続き行った。学習ノートの利用者数は313人であった。

展示品については、本展の目玉になりつつある「盆栽のおもちゃ」を新たに4種類(15点)追加

した。盆栽のおもちゃは、子どもや保護者を展覧会に惹きつける大きな役割を担うとともに、現代の日本において、盆栽がどのような“広がり”を示しているのかを、視覚的に分かりやすく伝えるという意図もある。盆栽をめぐる社会の動向を把握する上で、今後も引き続き収集に努めていく予定である。

また、当館所蔵盆栽から選抜した10点の人気投票を行い、参加者数は830人であった。加えて、盆栽についての理解をより深めるため、展示室入口手前には実物の盆栽に触れる体験コーナーを常設した。

関連企画として、当館近隣の植竹小学校6年生による「盆栽新聞」を展示した。同校から提供を受けたもので、盆栽の魅力について伝えることをテーマに作成された新聞である。

関連事業について、夏休みワークショップは24頁に記載する。盆栽講座では、「盆栽博士ちゃん」として活躍中の清水ちえり氏が、盆栽の魅力についてのスライドトークや剪定体験を来館者に対して行った。



ポスター



展示風景(全景)



展示風景(盆栽のおもちゃ)

出品作品一覧

場所	作品名	作者
ロビー	盆石 「松島」	家元嗣 永島三奈子
ギャラリー1	盆石 「旅立ち」	和田聖子
ギャラリー2	盆石 「塩釜の浦」	清水玲子
ギャラリー3	盆石 「毛越寺」	岡本光之
ギャラリー4	盆石 「出羽三山」	網中順子
ギャラリー5	盆石 「市振の関」	佐野寿美
真の間	盆石 「立石寺」	久保田聡
	①A-095 もみじ (獅子頭)、セキショウ寄せ植え ②A-047 もみじ (出狸々)、セキショウ寄せ植え	
行の間	盆石 「乙字ヶ滝」	酒井滋子
	①五葉松 ②A-134 檜、ヌスビトハギ寄せ植え	
草の間	盆石 「水の音」	美多賀鼻千世
	①紫式部寄せ植え ②ギョリュウ	

(4) 芭蕉の旅路～「盆石」で巡る

会 期：9月6日(金)～9月18日(水) 12日間

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館

協 力：一般財団法人細川流盆石

会 場：ロビー、コレクションギャラリー

出品席数：9席

関連事業：

盆石制作のデモンストレーション

日 時：9月8日(日) 13:30～15:00

講 師：一般財団法人細川流盆石

参加者数：35人

印刷物：ポスター B1判3枚、B2判35枚

チラシ A4判2,500枚

(水石展と裏表)

入館者数：2,090人(174人/1日)

担 当：菅原千華、立石見雪

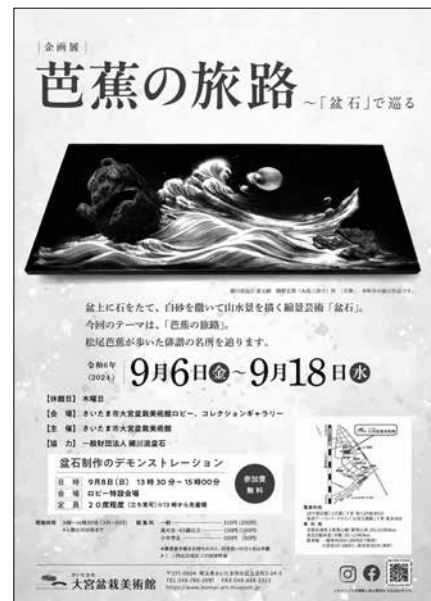
開催概要：

本展は、日本の中世に端を発し、盆上の縮景を表現する伝統文化として、盆栽とも密接な関係を持つ「盆石」を特集したものである。

盆石とは、主に真塗の盆上に石を建て、白砂を撒いて、白鳥の羽根などを用いて水流や山岳等の文様を梳いて描き、山水の景観を縮景として表現する芸術である。

一般財団法人細川流盆石の協力を得て、9名の会員各氏に出展いただいた。恒例の本展では、毎年テーマを設けており、今回は主に松尾芭蕉「奥の細道」の名所をイメージした作品を展示した。各作品に芭蕉の俳句を認めた短冊を添え、芭蕉の世界観を膨らませた。ギャラリーでは盆石の1点飾り、座敷では盆石に当館の盆栽を合わせて展示した。

また、普段あまり触れることの少ない盆石の世界を身近に感じてもらうため、一般財団法人細川流盆石の会員によるデモンストレーション及び制作体験を実施し、多くの方にご参加いただいた。



ポスター



展示風景

(5) 特別展 ウキヨエ植物大図鑑～
「盆栽づくし」を楽しみつくり!

会 期：9月21日(土)～11月4日(月祝) 38日間

前期 9月21日～10月9日

後期 10月12日～11月4日

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館

会 場：企画展示室

出品点数：68点

展示構成：

1章 植物大好き！ 江戸園芸の大流行

2章 見る、知る、楽しむ！

ビジュアル植物大図鑑

3章 「ふ」のつくものを探せ！

有卦絵のなぞ解き

関連事業：

1 特別展スライドトーク

日時：①9月21日(土)、②10月6日(日)、

③11月3日(日)いずれも14:00～15:00

講師：担当学芸員

参加者数：①39人、②31人、③27人

2 展覧会を楽しむクイズシート

「はちうえをさがせ！」

小学生を対象としたクイズ形式のシートを
会場で配布

印刷物：ポスター B1判3枚、B2判50枚

チラシ A4判3,000枚

図録 A4判横、56ページ、

カラー印刷、販売価格1,000円

入館者数：9,219人(243人/1日)

担 当：田口文哉

開催概要：

浮世絵版画の分類のひとつ「おもちゃ絵」における「ものづくし絵」のテーマの一つとして、江戸時代の園芸文化の流行を背景に、「植木づくし」や「鉢植えづくし」と題された鉢植え植物のものづくし絵が数多く出版されている。鉢植えの傍らには植物名を記載する図が多く、楽しみながら絵を見て、植物も文字も学ぶことのできる子ども向け植物図鑑のような一枚摺りの版画である。

本展では、個人収集家の所蔵品を中心に、鉢植えづくしや有卦絵を中核として、当時と同じように絵を見て学び、読み解き、楽しむことのできる

体験を来場者に提示するとともに、盆栽専門美術館として、描かれたすべての植物の種類を解明した上で、いくつかの視点から鉢植えづくしの知られざる特徴を明らかにしようと試みた。また、その体験や研究成果、展示の要点を子どもたちにも伝えるため、クイズを通して出品物やパネルに注目することのできるシートを会場で配布した。

なお、会期は当初10月30日(水)までであったが、庭園の池改修による臨時休館が11月5日からと決定されたため、所蔵者とも相談の上、11月4日まで延長した。

展示について、第1章では本展への導入部として、江戸園芸自体の流行を示す園芸愛好の場面を描いた風俗版画を展示し、鉢植えづくしを生み出した社会背景を紹介した。

本展の中核をなす続く第2章では、出展した36作を対象とした調査の結果明らかとなったおよそ130種、総点数1,416点に及ぶ鉢植えが描かれたものづくし絵を主として紹介した。個別解説パネルや図録の構成については、複製図版に植物名を掲載し、それぞれの植物の種類を容易に理解してもらえるよう工夫した。

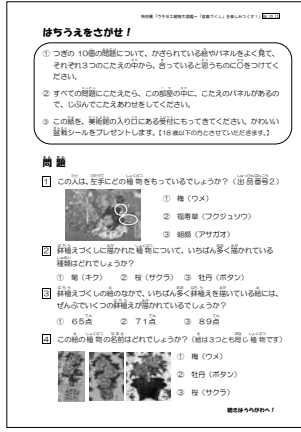
また、調査結果を用いることで植物種のランキングトップ10や、最も多く鉢植えを描いた作の紹介、さらに植物だけではなく植木鉢の多様な種類にも興味をもって表現されていたことや、同時代の百科事典の図版との比較を通して、鉢植えで描くことの意義について考察するトピックを展示中に展開した。これらの研究成果に基づくトピックにより、これまで紹介されることのなかった鉢植えづくしの特徴を提示することができた。

最終第3章では、「ふ(富)」からはじまるおめでたい鉢植えを描いた有卦絵(うけえ)を取り上げ、鉢植えを含めてそのすべての種類を明らかにすることで、絵を読み解く楽しみを提示した。

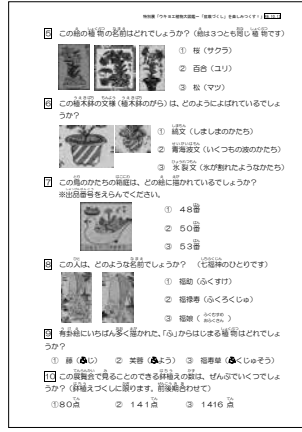
本展は、盆栽を専門とする美術館ならではの企画として、植物種の網羅とともに、鉢植えで描くことの意義を提示したものであり、鉢植えづくしという江戸園芸文化史を構成する一テーマを明らかにしたものである。盆栽文化史の構築のため、今後もこのような専門的な研究・企画を進め、その楽しさを伝えていきたい。



チラシ



クイズ形式のシート



図録



会場風景

出品作品一覧

出品番号	絵師	作品名	判型、技法	寸法 (縦×横)cm	年代	版元	所蔵者	前期	後期
1	鳥居清長	風俗東之錦 植木売り	大判錦絵	38.5×25.1	天明3~4年(1783~84)	印なし	個人	○	○
2	歌川国貞(三代歌川豊国)	名妓三十六佳撰 瀧川	大判錦絵	37.5×25.5	文久元年(1861)12月	葛屋吉蔵	個人	○	○
3	歌川国貞(三代歌川豊国)	市美弥景姿の福島扇	大判錦絵	37.3×25.4	弘化3年~嘉永元年(1846~48)	恵比寿屋庄七	個人	○	○
4	二代喜多川歌麿	浅草今戸早春之景 三枚繪	大判錦絵	38.8×26.8	文化4年(1807)11月	不詳	個人	○	○
5	楊洲周延	江戸風俗図 箱庭	絹本着色	28.5×31.5	明治10年代(1877~86)	-	Kazuko Collection	○	○
6	守川周重	江戸風俗図 植木売り(仮題)	絹本着色	28.5×31.8	明治10年代(1877~86)	-	個人	○	○
7	歌川国貞(三代歌川豊国)	浅草 雷神門之光景	大判錦絵 3枚統	右36.0×24.5 中36.2×25.2 左35.7×24.6	嘉永6年(1853)6月	藤屋棟助	個人	○	○
8	歌川国貞(三代歌川豊国)	春宵 梅ノ宴	大判錦絵 3枚統	右35.9×24.9 中35.8×24.9 左35.9×24.9	嘉永2年~5年(1849~52)	林屋庄五郎	個人	○	○
9	歌川貞房	新板樹木づし 再板	大判錦絵	36.3×24.1	天保期(1830~44)	江崎屋辰蔵	個人	○	○
10	不詳	新板樹木づし	大判錦絵	35.6×23.6	弘化元年~弘化3年(1844~46)	印なし	個人	○	○
11	歌川重宣(二代歌川広重)	新板植木づし	大判判合摺	39.6×28.0	弘化4年~嘉永5年(1847~52)	佐野屋喜兵衛	個人	○	○
12	歌川芳豊	新板植木尽	大判錦絵	36.3×24.1	弘化4年~嘉永5年(1847~52)	上州屋金蔵	個人	○	○
13	艶丸	新板樹木づし	大判錦絵	37.1×25.4	弘化4年~嘉永5年(1847~52)	不詳	個人	○	○
14	歌川国明	新板鉢植木づし	大判錦絵	36.2×25.1	弘化期(1844~48)	江崎屋辰蔵	個人	○	○
15	歌川重宣(二代歌川広重)	新板鉢植木づし	大判錦絵	36.7×24.7	弘化4年~嘉永5年(1847~52)	佐野屋喜兵衛	個人	○	○
16	歌川芳廉	しんばんうゑき尽	大判錦絵	37.0×25.1	嘉永2年~5年(1849~52)	印なし	個人	○	○
17	歌川芳為	しんばんうゑき尽	大判錦絵	36.5×25.6	嘉永6年(1853)1月	万屋吉兵衛	個人	○	○
18	歌川芳虎	新板植木づし	大判錦絵	36.5×25.0	安政4年(1857)1月	山城屋甚兵衛	個人	○	○
19	歌川芳幾	新板植木づし	大判錦絵	37.3×24.7	安政5年(1858)6月	小林鉄次郎	個人	○	○
20	歌川芳藤	草花植木づし	大判錦絵	36.7×24.8	安政5年(1858)2月	文正堂(小林泰治郎)	個人	○	○
21	不詳	うゑき尽	大判錦絵	36.7×24.5	明治時代(1868~1912)	不詳	個人	○	○
22	歌川国利	新板盆栽尽	大判錦絵	36.5×24.7	明治14年(1881)	神山清七	個人	○	○
23	不詳	しん板植木尽	大判錦絵	36.4×24.9	明治22年(1889)	長谷川国吉	個人	○	○
24	不詳	(もの尽)絵16面)うゑきつし	大判錦絵	36.6×24.6	不詳	不詳	個人	○	○
25	歌川国利	しん板植木尽	大判錦絵	36.7×24.7	明治18年(1885)	大倉四郎兵衛	個人	○	○
26	不詳	未詳(植木づし)	大判錦絵	34.2×23.0	明治29年(1896)3月	今井歌太郎	個人	○	○
27	歌川国利	しん板うゑ木尽	大判錦絵	35.8×24.3	明治30年(1897)	堤吉兵衛	個人	○	○
28	一光	しんばん植木尽	大判錦絵	36.9×24.8	明治39年(1906)4月12日印刷、20日発行	奈良沢健次郎	個人	○	○
29	歌川芳久	新板植木づし	大判錦絵	34.7×22.6	文久3年(1863)11月	木屋宗次郎	個人	○	○
30	歌川貞虎	新板植木づし	大判錦絵	36.9×25.9	文政期(1818~30)	江崎屋辰蔵	個人	○	○
31	歌川芳虎	しんばん草木花はちうゑ尽	大判錦絵	35.9×24.3	明治3年(1870)9月	木屋宗次郎	個人	○	○
32	不詳	しんばんうゑ木尽	大判錦絵	36.2×24.2	明治20年(1887)	堤吉兵衛	個人	○	○
33	歌川芳藤	しん板うゑ木づし	大判錦絵	36.1×24.3	明治12年(1879)8月29日	小林泰二郎	個人	○	○
34	守川周重	しん板うゑき花尽	大判錦絵	37.1×24.3	明治時代(1868~1912)	森本順三郎	個人	○	○
35	歌川芳都	しん板うゑき尽	大判錦絵	36.0×24.1	明治時代(1868~1912)	不詳	個人	○	○
36	不詳	子供手遊づしの内植木ぼち	大判錦絵	34.2×23.1	十九世紀中頃	丸屋鉄次郎	個人	○	○
37	不詳(美権)	大新板うゑきぼちづし	細版錦絵	37.4×16.2	不詳	不詳(立市)	個人	○	○
38	笹木芳光	大新板植木づし	細版錦絵	37.1×16.9	不詳	不詳	個人	○	○
39	長谷川小信	(鉢植え尽)	細版錦絵	37.0×16.5	不詳	不詳(池吉)	個人	○	○
40	不詳	うゑ木鉢ぞう花十二月	細版錦絵	36.6×17.7	不詳	不詳	個人	○	○
41	不詳	植木ぼちづし	小判錦絵	18.0×12.1	明治時代(1868~1912)	万屋孫兵衛	個人	○	○
42	不詳	(もの尽)絵4面)新板花づし	大判錦絵	35.3×23.0	不詳	辻岡屋文助	個人	○	○
43	歌川国利	新板玩繪尽	大判錦絵	36.4×24.5	明治元年~明治32年(1868~1899)	森本順三郎	個人	○	○
44	不詳	(ものづし)絵(ほぼ全9面)	大判錦絵	36.3×23.5	明治時代(1868~1912)	不詳	個人	○	○
45	歌川貞房	新板手遊繪戸物箱庭尽	大判錦絵	38.2×25.7	天保期(1830~44)	江崎屋辰蔵	個人	○	○
46	歌川芳綱	新板箱にわだし	大判錦絵	35.8×25.4	嘉永6年(1853)6月	上総屋岩蔵	個人	○	○
47	歌川重宣(二代歌川広重)	新板手遊庭道具尽	大判錦絵	37.2×25.4	嘉永5年(1852)5月	辻屋安兵衛	個人	○	○
48	歌川芳綱	新板箱にわだし	大判錦絵	37.3×25.4	嘉永6年(1853)6月	上総屋岩蔵	個人	○	○
49	歌川芳綱	しん板箱庭尽	大判錦絵	35.2×24.4	安政4年(1857)7月	上総屋岩蔵	個人	○	○
50	歌川芳綱	しん板箱庭ひな形	大判錦絵	35.1×23.7	安政4年(1857)7月	上総屋岩蔵	個人	○	○
51	不詳	新板盆栽庭尽	大判錦絵	36.4×23.2	明治25年(1892)	石野八重	個人	○	○
52	不詳	新板盆栽庭盡	大判錦絵	37.2×24.8	明治27年(1894)8月	松野米次郎	個人	○	○
53	不詳	新板盆栽庭盡	大判錦絵	37.2×24.4	明治28年(1895)	松野米次郎	個人	○	○
54	歌川豊国	(有卦絵)	大判錦絵	25.5×37.5	文化12年~天保13年(1815~1842)	山本久兵衛	個人	○	○
55	歌川国芳	(有卦絵)(水)性ノ人 月(六)目うけに入る	大判錦絵	36.4×26.0	文化12年~天保13年(1815~1842)	辻屋平八	個人	○	○
56	二代歌川国盛	(有卦絵)丙午歳五月十六日水性の人うけ三人	大判錦絵	36.3×25.7	弘化3年(1846)	近江安兵衛	個人	○	○
57	二代歌川国盛	(有卦絵)八月八日酉の刻木性の人うけ二人 卯年迄七ヶ年の間	大判錦絵	36.4×25.7	嘉永2年(1849)か	辻屋安兵衛	個人	○	○
58	歌川貞房	(有卦絵)五月十六日土水性の人うけに入る	大判錦絵	35.6×25.1	弘化3年(1846)	遠州屋又兵衛	個人	○	○
59	歌川国郷	(有卦絵)	大判錦絵	36.6×24.8	安政元年(1854)12月	若狭屋与一	個人	○	○
60	歌川国芳	安政有卦復の図	大判錦絵 2枚統	左37.0×25.5 右36.9×25.6	安政5年(1858)4月	恵比須屋庄七	大宮盆栽美術館	○	○
61	歌川芳幾	(有卦絵)卯ノ年二月十日金性の人うけ三人	大判錦絵	35.7×25.3	安政元年(1854)12月	井筒屋	個人	○	○
62	歌川重宣(二代歌川広重)	(有卦絵)午ノ月八日水性ノ人土性ノ人 午ノ刻うけ二人	大判錦絵	35.5×24.7	安政5年(1858)3月	藤岡屋慶次郎	個人	○	○
63	歌川国郷	(有卦絵)五月八日土水性のものうけに入	大判錦絵	35.8×24.6	安政5年(1858)3月	藤岡屋慶次郎	個人	○	○
64	豊原国周	(有卦絵)木性の人八月五日有卦に入	大判錦絵	36.5×24.6	文久元年(1861)5月	山田屋庄次郎	個人	○	○
65	豊原国周	(有卦絵)木性の人八月五日うけ二人	大判錦絵	37.4×25.8	文久元年(1861)5月	山田屋庄次郎	個人	○	○
66	歌川芳虎	(有卦絵)文久元酉年八月五日木性の人うけ二人	大判錦絵	23.5×36.1	文久元年(1861)か	不詳(上金)	個人	○	○
67	歌川芳盛	(有卦絵)元治元甲子年十一月十五日子ノ刻 火性之人有卦二人	大判錦絵	37.2×25.4	元治元年(1864)10月	上州屋金蔵	個人	○	○
68	三代歌川広重	(有卦絵)	大判錦絵	35.7×24.1	慶應3年(1867)1月	伊勢屋利兵衛	個人	○	○

(6) 第33回 作家展 (日本盆栽作家協会)

会 期：10月11日(金)～10月30日(水)18日間

1期 10月11日～10月16日

2期 11月18日～11月23日

3期 11月25日～11月30日

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館
一般社団法人日本盆栽作家協会

会 場：ロビー、コレクションギャラリー

出品席数：27席 (1週9席)

関連事業：

ギャラリートーク

日 時：10月19日(土) 13:30～

講 師：担当学芸員

参加人数：34名

印刷物：ポスター B1判2枚、B2判90枚

チラシ A4判3,700枚

入館者数：4,760人 (264人/1日)

担 当：菅原千華、立石見雪

開催概要：

一般社団法人日本盆栽作家協会は、盆栽作家精神の高揚と研究・研鑽および盆栽作家の社会的地位の確立を目的として結成された協会である。当館では、同協会との共催により、平成23年度から毎年秋季に展覧会を開催してきた。

第33回展となる本展では、同協会所属の盆栽作家26名が仕立てた格調高い盆栽を展覧するとともに、作家のコメントを添えることで、作り手の熱い思いに触れられる展覧会となった。

また、同協会会長の山田登美男氏や同会を代表する小林國雄氏らによって、当館の座敷と調和した格式の高い席飾りが展観された。



野梅 (真の間)



吾妻五葉松 (ロビー)

出品作品一覧

1期		
場所	名称	所蔵者
ロビー	花梨	神田浩一
ギャラリー1	橘、木彫 大黒天	岩坪敏和
ギャラリー2	黒松、添え：コガネシダとイスタデの寄せ植え	風間雄一
ギャラリー3	皐月 (若恵比須) 銘「天細女命」、添え：姫柿	豊里友次
ギャラリー4	黒松、添え：八瀬茅舎石	高津政之
ギャラリー5	津山檜、添え：コガネシダとイスタデの寄せ植え	秋山実
真の間	野梅、軸：森村宜福「月前雁行」、脇床：コガネシダとイスタデの寄せ植え、付書院：佐治川石	小林國雄
行の間	五葉松 銘「松風」、軸：狩野雅信「月に鳥」、付書院：チョウジュバイ	山田登美男
草の間	一位、添え：八瀬真黒石	西嶋啓二
2期		
場所	名称	所蔵者
ロビー	真柏	福館治
ギャラリー1	五葉松、添え：イワオモダカほか寄せ植え	上原幹夫
ギャラリー2	吊花・猿梨、添え：エノコログサ	米沢増雄
ギャラリー3	樺	山田寅幸
ギャラリー4	五葉松、添え：イワオモダカ	馬場守一
ギャラリー5	五葉松、添え：姿石	鈴木和幸
真の間	真柏、脇床：ホンバノギク	松田恭治
行の間	檜、軸：上村久志「鳳凰の図」、添え：ヤブコウジ	五十嵐善巳
草の間	五葉松、添え：コガネシダ	今井千春
3期		
場所	名称	所蔵者
ロビー	吾妻五葉松	阿部健一
ギャラリー1	真柏、添え：ノコンギク	矢内信幸
ギャラリー2	山もみじ、添え：チョウジュバイ	萩原功子
ギャラリー3	五葉松、添え：ヤブコウジ	増田四郎
ギャラリー4	五葉松、添え：ヒメフウチソウ	安藤芳広
ギャラリー5	真柏、添え：八瀬石	田尻吉正
真の間	五葉松 銘「松風」、軸：狩野雅信「月に鳥」、添え：セキショウ、脇床：龍山 木彫 鴛鴦	山田登美男
行の間	越後五葉松 銘「弥彦山」、軸：山田宗敏「閑雲」、付書院：山脇敏男 木彫 良寛像	須藤雨伯
草の間	五葉松	野上和義



ポスター

Ⅲ 普及事業

盆栽文化の普及を目的とした事業として、当館では月例の講座をはじめ、展示やイベント等に合わせた不定期の特別講座や各種の依頼を受けて実施する出張講座、学校との連携事業、その他イベント事業を数多く開催し、そのほとんどの事業においては当館のボランティア組織である「ミュージアム・サポーター」の助力を得て実施している。

令和6年度は、昨年度に引き続きすべての事業をコロナ禍以前の対面方式により実施することで、美術館と講座参加者の能動的な交流の促進を目指した。結果的には、多くの活動に参加いただいたサポーターの活躍もあり、参加者の高い満足度を得ることができたと考える。

1 定例講座

(1) 盆栽ワークショップ —はじめての盆栽づくり

対 象：一般の方

日 時：4月～10月

毎月第3日曜日 14:00～15:30

実施数：6回

会 場：講座室

参加費：3,000円

参加者数(定員)：54人(各10人)

講 師：大宮盆栽協同組合

担 当：立石見雪、中村麗理

開催概要：

本講座は、盆栽文化の普及を目的として、初心者向けに開催している。

数か月ごとに、盆栽となる植物の種類を変更し、季節感のある盆栽を仕立てている。講座では、盆栽の正面や見どころを見極め、剪定や植え替えを行って盆栽らしく仕立て、今後の培養管理の方法について学ぶ。

この受講が美術館への来館と大宮盆栽村訪問のきっかけとなるよう、講座内容には美術館の展示や盆栽園の紹介を加えるとともに、大宮盆栽協同組合から講師を迎えて実施した。

また、受講者にきめ細やかな指導をするため、当館ボランティア組織「ミュージアム・サポーター」のスタッフが指導補助として参加した。

なお、空調設備故障による臨時休館のため、8月18日実施分は中止とした。



講座風景



講師による指導



サポーターによる指導

盆栽ワークショップ一覧

No	開催日	素材	講師	参加者数(人)
1	4月21日	羽団扇かえで	藤樹園	8
2	5月19日	羽団扇かえで	芙蓉園	8
3	6月16日	真柏	清香園	8
4	7月21日	真柏	九霞園	10
	8月18日	空調設備故障による臨時休館のため中止		
5	9月15日	長寿梅	蔓青園	10
6	10月20日	真柏	松雪園	10

合計 54 人

※同伴者の人数含む

(2) 子ども向けワークショップ
—はじめての盆栽づくり

対 象：小中学生
日 時：4月～10月（7月、8月除く）
毎月第3日曜日 10:00～11:30

実施数：5回
会 場：講座室
参加費：3,000円
参加者数（定員）：102人（各10組）
講 師：大宮盆栽協同組合
担 当：立石見雪、中村麗理

開催概要：

本講座は、盆栽文化の普及を目的として、小中学生とその保護者向けに開催している。

数か月ごとに、盆栽となる植物の種類を変え、季節感のある盆栽を仕立てている。講座では、盆栽の正面や見どころを見極め、剪定や植え替えを行って盆栽らしく仕立て、今後の培養管理の方法について学ぶ。

この受講が美術館への来館と大宮盆栽村訪問のきっかけとなるよう、講座内容には美術館の展示や盆栽園の紹介を加えるとともに、大宮盆栽協同組合から講師を迎えて実施した。

また、受講者にきめ細やかな指導をするため、当館ボランティア組織「ミュージアム・サポーター」のスタッフが指導補助として参加した。



参加者の作業の様子



講師による指導



サポーターによる補助

子ども向けワークショップ一覧

No	開催日	素材	講師	参加組数(組)	参加者数(人)
1	4月21日	羽団扇かえで	藤樹園	10	25
2	5月19日	羽団扇かえで	芙蓉園	10	23
3	6月16日	真柏	清香園	10	14
4	9月15日	長寿梅	蔓青園	8	18
5	10月20日	真柏	松雪園	10	22
合計				48組	102人

(3) 盆栽実技

対 象：一般の方
日 時：4月～10月
毎月第4土曜日 13:30～14:30

実施数：6回
会 場：講座室
参加費：無料
参加者数（定員）：141人（各30人）
講 師：大宮盆栽協同組合
担 当：田口文哉

開催概要：

大宮盆栽協同組合から講師を迎え、季節に合った盆栽の手入れ方法や知識を実技を交えながら講義いただいた。

なお、空調設備故障による臨時休館の影響により、8月24日実施分は中止とした。

盆栽実技一覧

No	開催日	講師	参加者数(人)
1	4月27日	蔓青園	19
2	5月25日	松雪園	30
3	6月22日	藤樹園	22
4	7月27日	芙蓉園	18
	8月24日	空調設備故障による臨時休館の影響により中止	
5	9月28日	九霞園	25
6	10月26日	蔓青園	27

合計 141人

(4) 盆栽相談デー

対 象：どなたでも

日 時：4月～10月

毎月第4日曜日 13:30～15:30

実施数：7回

会 場：講座室

参加費：無料

参加者数(定員)：45組79人(各9人)

講 師：大宮盆栽協同組合

担 当：立石見雪、中村麗理

開催概要：

参加者は自分が育てている盆栽を持参し、盆栽に合わせた技術指導を受け、必要に応じて剪定や針金掛け、植え替え作業を行った。参加者の持参した盆栽は、当館ワークショップ等の講座で仕立てた盆栽以外にも、盆栽園が実施した体験教室等で仕立てた盆栽など、樹種は様々で、相談内容は整姿整形方法や剪定方法、培養管理方法など多岐にわたっていた。

講師による指導をもとに参加者が作業をする際には、当館ボランティア組織「ミュージアム・サポーター」が補助を行った。剪定や針金掛け、植え替えについては、研修やさいたま国際盆栽アカデミーで得た知識と技術を活用する場面が見られた。

なお、8月25日実施分について、空調設備の故障の影響により、一度中止の判断をしたものの、空調設備が復旧したことから、申込があった参加者の内、希望者に対して本講座を実施した。



講師による指導



サポーターによる補助

(5) ギャラリートーク

盆栽等の鑑賞の基本や出品物の見どころを紹介し、来館者のより深い出品物及び盆栽文化への理解を育むため、基本的に毎月第1日曜及び第3土曜に、当館職員または企画展等の出品者による解説会を開催している。

なお、本年度の特別展に関しては、会場となる企画展示室の混雑緩和のため、ロビーを会場としてスライドトーク形式で実施した。

ギャラリートーク一覧

No	開催日	曜日	時間	名称	講師 (敬称略)	参加者数 (人)
1	4月7日	日	13:30～14:00	ギャラリートーク	立石見雪	18
2	4月20日	土	13:30～14:00	ギャラリートーク	菅原千華	21
3	5月18日	土	13:30～14:00	ギャラリートーク	菅原千華	8
4	6月15日	土	13:30～15:00	ギャラリートーク	菅原千華	12
5	7月7日	日	13:30～14:30	ギャラリートーク	田口文哉	33
6	7月20日	土	13:30～14:00	企画展「山水涼景」 ギャラリートーク	森前誠二 (日本水石協会)	25
7	8月4日	日	13:30～14:00	企画展「山水涼景」 ギャラリートーク	立石見雪	13
8	9月1日	日	13:30～14:15	企画展「山水涼景」 ギャラリートーク	加藤崇寿 (日本水石協会)	17
9	9月21日	土	14:00～15:00	特別展「ウキヨエ 植物大図鑑」 スライドトーク	田口文哉	39
10	10月6日	日	14:00～15:00	特別展「ウキヨエ 植物大図鑑」 スライドトーク	田口文哉	31
11	10月19日	土	13:30～14:00	企画展「作家展」 ギャラリートーク	菅原千華	34
12	11月3日	日	14:00～15:00	特別展「ウキヨエ 植物大図鑑」 スライドトーク	田口文哉	27

合計 278人

2 特別講座

(1) 夏休みワークショップ —こけ玉盆栽づくり

対 象：小中学生

日 時：7月20日(土)～7月22日(月)、
8月2日(金)～8月4日(日)
10:00～11:00、13:00～14:00、
15:00～16:00

実施数：10回

会 場：講座室

参加費：2,000円

参加者数(定員)：237人(各12組)

講 師：大宮盆栽協同組合

担 当：中村麗理、立石見雪

開催概要：

さいたま市内小学校の夏休み期間に合わせて、盆栽文化の普及を目的とした小中学生が対象の夏休みワークショップを開催した。本講座は定員以上の申込みがある人気講座である。

実施にあたり、小中学生が簡単にこけ玉盆栽づくりができるよう、使用する材料や道具類、指導方法について工夫を行った。これにより、小学校低学年でも最後まで集中してこけ玉盆栽を作ることができた。

また、保護者の見学や撮影を自由とし、保護者が作成の場に立ち合い、講師による培養管理の解説も聞くことで、今後の育て方についての理解を深めてもらうよう工夫した。



講座風景

夏休みワークショップ一覧

No	開催日	曜日	時間	講師	参加組数(組)	参加者数(人)
1	7月20日	土	10:00～11:00	藤樹園	12	26
2	7月20日	土	13:00～14:00	藤樹園	7	15
3	7月20日	土	15:00～16:00	藤樹園	10	21
4	7月21日	日	10:00～11:00	藤樹園	9	20
5	7月22日	月	10:00～11:00	藤樹園	11	27
6	8月2日	金	10:00～11:00	藤樹園	10	23
7	8月3日	土	13:00～14:00	藤樹園	11	26
8	8月4日	日	10:00～11:00	藤樹園	10	29
9	8月4日	日	13:00～14:00	藤樹園	9	30
10	8月4日	日	15:00～16:00	藤樹園	8	20
合計					97組	237人

(2) 出張講座等

市内外の各種団体の依頼を受け、当館または外部機関において、下記のとおり9回の講座を実施した。

盆栽文化に関する出講一覧

No	開催日	曜日	時間	講座・イベント名称	講師(敬称略)	会場	参加者数(人)
1	5月28日	火	14:00～15:30	春岡公民館 介護予防啓発事業「つるかめ塾」第4回「大宮盆栽美術館で盆栽文化を学ぶ」	田口文哉	講座室、コレクションギャラリー	20
2	5月29日	水	10:00～11:30	出前講座(田島公民館)	田口文哉	田島公民館	30
3	6月9日	日	13:00～15:00	伝統盆栽に触れる・楽しむ	田口文哉	川口市立アートギャラリー・アトリア	25
4	7月10日	水	13:00～15:00	大人の寺子屋	田口文哉	ミヤケマイ大人の寺子屋「余白」	10
5	11月10日	日	10:00～12:00	大古里公民館「盆栽の魅力と苔玉作り」	ミュージアム・サポーター、田口文哉	尾間木公民館	26
6	11月13日	水	11:30～12:30 14:30～15:30	大宮盆栽村に行こう！～ためになる100年の村の歴史と鑑賞のコツ	田口文哉	駅たびコンシェルジュ大宮	24
7	11月17日	日	14:00～15:30	大宮盆栽村の歴史	菅原千華	北図書館	25
8	3月3日	月	13:30～14:30	BONSAIの町大宮ミニ盆栽教室	田口文哉	ソニックシティ	53
9	3月24日	月	10:30～12:00	大宮観光ボランティアガイド会庭園研修	田口文哉	講座室	18
合計							231人

3 学校連携

(1) 学校見学

さいたま市内小学校を中心に、校外学習等の授業の一環としての見学を受け入れている。

また、当館の利用促進及び効率的な学習活動を提供するため、さいたま市立小学校を対象として、当館の費用負担によるバスの借上げ事業を実施している。

見学は、小学校3年生の社会科「地域学習」を念頭において①大宮盆栽美術館の特徴や大宮盆栽村についての学習、②展示盆栽の見学、③盆栽に触れる体験からなる3つのプログラムによって実施した。これらのプログラムは、盆栽の見方など、盆栽についての知識を身に着け、展示している盆栽の中から好きな盆栽を探したり、盆栽に触れたり水やりを体験することで、児童が様々な気づきを得ることができる内容となっている。

また、児童の理解をより深めることができるように、事前学習や見学時に利用できる書き込み式の学習シートのデータを事前に学校に配布した。

バス借上げ事業での見学は15校16回実施し、徒歩及び学校によるバス手配での見学の2校2回と合わせて、実施校数は17校となった。

担当：中村麗理、立石見雪

バス借上げ事業での見学

実施校：15校（16回）
バス借上げ台数：28台
人数：834人（引率を含む）

徒歩及び学校バス手配での見学

実施校：2校（2回）
人数：203人（引率を含む）

小学校見学総数

実施校：17校（18回）
人数：1,037人（引率含む）



見学風景

学校見学一覧

【小学校】バス借上げ事業

No	日程	曜日	時間	学校名	学年	クラス数	人数	引率	合計	バス台数	
1	5月10日	金	13:40～14:40	新和小学校	4	1	29	3	32	1	
2	5月14日	火	9:00～10:30	城南小学校	4	2	54	3	57	2	
3	5月22日	水	9:00～10:30	与野本町小学校	3	3	76	7	83	3	
4	5月28日	火	9:50～11:50	美園小学校	4	6	186	8	194	6	
			13:00～15:00								
5	6月7日	金	13:30～14:30	神田小学校	4	3	68	4	72	3	
6	7月10日	水	9:30～11:00	川通小学校	3	1	18	3	21	1	
7	7月12日	金	9:30～11:10	岩槻小学校	4	2	69	4	73	2	
8	9月4日	水	13:00～14:30	原山小学校	3	4	128	8	136	3	
9	9月18日	水	13:15～14:30	大久保小学校	3	2	38	4	42	1	
10	9月20日	金	13:00～14:10	美園教育相談室	複数	1	6	4	10	1	
11	10月9日	水	9:00～10:10	馬宮西小学校	3	1	8	3	11	1	
12	10月18日	金	9:55～11:05	柏崎小学校	3	2	41	4	45	1	
13	10月22日	火	9:40～11:30	東岩槻小学校	3	1	24	3	27	1	
14	10月25日	金	10:45～11:45	堀崎教育相談室	複数	1	3	6	9	1	
15	10月25日	金	13:00～14:00	あいばれっと	複数	1	13	9	22	1	
合計					15校（16回）	31クラス				834人	28台

【小学校】徒歩及び学校バス手配での見学

No	日程	曜日	時間	学校名	学年	クラス数	人数	引率	合計	来館方法
1	10月1日	火	13:30～15:00	桜木小学校	3	3	84	4	88	バス
2	10月2日	水	9:00～10:00	植竹小学校	5	3	108	7	115	徒歩
合計					2校（2回）	6クラス				203人

(2) 出張盆栽授業

対 象：さいたま市立土呂中学校 2学年

日 時：6月26日（水）13:40～15:30

実施数：1回

会 場：土呂中学校 体育館

参加者数：160人（3クラス）

講 師：学芸員、盆栽技師

担 当：田口文哉、小棚明生

開催概要：

土呂中学校では、2学年美術科の授業において大宮盆栽村や大宮盆栽美術館が隣にある地域の特色を生かし、盆栽をモチーフとしたペーパークラフト作品を制作している。令和5年度は授業への協力として情報提供を行ったが、本年度は出張盆栽授業として当館学芸員と盆栽技師が出講して特別授業を行った。

授業では、学芸員が大宮盆栽村の歴史や盆栽の鑑賞等の基本をスライドを用いて伝え、続いて盆栽技師がモミジの苗木を題材に針金掛けの整枝技術をデモンストレーション形式で披露した。体育館を会場としたことから、技師の手元を見えやすくするため、ビデオカメラをプロジェクターに接続してスクリーンに投影し、解説を含めて職人の技術をわかりやすく伝えられるようにした。

授業終了後には生徒たちが興味深く盆栽の近くに集まり、作業後の木の姿や枝ぶりをじっくりと観察していた。本授業が生徒たちのペーパークラフト作品作りの良い動機付けとなり、地域の文化や培われてきた技術についてより関心をもってもらえるよう、次年度以降の開催も働きかけたい。

(3) 埼玉県立浦和北高等学校・越谷西高等学校 盆栽作品展

会 期：10月25日（金）～10月30日（水）

会 場：ロビー

参加者数：58人

浦和北高校 47人、越谷西高校 11人

担 当：田口文哉

開催概要：

埼玉県立浦和北高等学校（「美術総合」）および越谷西高等学校（「美術Ⅲ」）では、美術科目において、埼玉県が世界に誇る日本の伝統的な文化である盆栽について、体験を通して理解を深め、地元根付く伝統文化を大切にしている心情を育成することを目的とした授業を行っている。授業には当市の学芸員が出講し、盆栽や盆栽村の歴史、鑑賞の基本などを紹介したほか、藤樹園の盆栽講師の指導により、生徒が事前に制作したオリジナルの盆器で盆栽づくりが行われた。本展示は、その成果発表の場として、当館が開催したものである。

盆栽授業は、浦和北高校では7年目、越谷西高校では5年目となった。



浦和北高校の展示



越谷西高校の展示

(4) さいたま市立土呂中学校・第2学年美術科
授業選抜作品展覧会「万才・溢彩・BONSAI」

会 期：令和7年3月21日(金)～4月2日(水)

会 場：ロビー

参加者数：36人

担 当：田口文哉、中村麗理

関連事業：

ワークショップ「ペーパークラフトで盆栽をつくろう!」

日 時：3月23日(日) 13:30～15:30

講 師：土呂中学校2学年生徒(4人)

参加者数：30人

主 催：さいたま市文化振興事業団、
土呂中学校、大宮盆栽美術館

開催概要：

さいたま市立土呂中学校美術科第2学年における盆栽をモチーフとするペーパークラフト作品を制作する授業に協力し、授業の成果発表の場として、生徒の作品から36点を選抜して紹介する2回目の展覧会を同校との共催により開催した。

作品は、盆栽の調べ学習を行った生徒が自らの心情を盆栽として表現するために描いたアイデアスケッチを基に、紙紐を材料として束ねて曲げるなどの加工や着彩によって樹木の幹枝、葉、花を造形し、生徒自身の心の内に秘めた思いや感情を盆栽の形状に置き換えて表現したペーパークラフトである。

本年度はさいたま市文化振興事業団の協力により、出品者の2学年生徒から4人をボランティア講師として招き、「ペーパークラフトで盆栽をつくろう!」と題して一般来館者を対象とした作品作りのワークショップを開催した。



展覧会ポスター



展示の様子

(5) 職場体験、研修等の受入れ

① さいたま市中生職場体験事業
「未来くるワーク体験」

対 象：さいたま市立中学校

日 時：一覧参照

実施数：一覧参照

参加者数：13人

担 当：中村麗理

開催概要：

さいたま市立中学校が実施するさいたま市中生職場体験事業「未来くるワーク体験」の受入れを行った。中学生には受付業務、展示準備・撤去、盆栽の培養管理など当館の業務の幅広い体験を提供した。

No	学校名	期間	日数	学年	人数
1	大宮北中学校	6月25日(火)～27日(木)	3	2	2
2	泰平中学校	7月3日(水)～5日(金)	3	2	3
3	常盤中学校	9月3日(火)～5日(木)	3	2	3
4	大砂土中学校	9月6日(金)	1	2	3
5	土呂中学校	9月10日(火)～12日(木)	3	2	2

合計 13日 13人(5校)

② 中堅教諭等資質向上研修企業等体験研修

対 象：さいたま市立小中学校教諭

日 時：7月24日(水)～7月25日(木)

7月31日(水)～8月1日(木)8:30～17:15

実施数：2回

参加者数：4人

担 当：中村麗理

開催概要：

夏休み期間中に実施される市立小中学校教諭向けの研修の受入れを行った。講座の準備や開催補助、各種資料の入力業務など、職員が行っている業務全般について体験機会を提供した。

③ 博物館見学実習

対 象：大妻女子大学

日 時：5月12日(日)、5月19日(日) 13:30～15:00

実施数：2回

参加者数：34人

担 当：学芸員

開催概要：

大学学芸員課程の博物館見学実習を受け入れ、学芸員による講義と館内の見学案内を行った。

4 イベント

(1) ゆかた de 盆美

期 間：7月15日(月祝)～9月8日(日)
※空調設備故障による臨時休館のため、
8月9日(金)～23日(金)は当館では
実施せず。

担 当：山川麻衣子

開催概要：

夏季の来館者アップを目的として、毎年恒例となった「ゆかた着用で観覧料無料」等のキャンペーンを行った。今年度は大宮盆栽美術館と岩槻人形博物館のコラボイベントとして、両館にて実施した。

① 観覧料無料キャンペーン(大宮盆栽美術館)

参加者数：53人(男性18人、女性35人)

開催概要：

期間中にゆかた・甚平もしくは和服を着た来館者本人を観覧料無料とした。

② ゆかた着付体験・打ち水イベント

会 場：大宮盆栽美術館

実施日時：7月15日(月祝)

10:00／10:30／14:00／14:30

参加費：無料

参加者数(定員)：20人(各回5人)

協 力：ハクビ京都きもの学院埼玉校

開催概要：

「ゆかた de 盆美&にんぱく」企画の一環として、

ゆかたの着付を体験し、ゆかた姿で館内を見学いただいた。また、庭園で一斉に打ち水を行った。

③ SNS を利用したプレゼント企画

会 場：大宮盆栽美術館・岩槻人形博物館

参加費：無料(ゆかた de 盆美&にんぱくに参加された方)

開催概要：

「ゆかた de 盆美&にんぱく」企画の一環として、ゆかたで来館し、かつ、両館のInstagramをフォローしている方全員に、オリジナル缶バッジまたは絵葉書をプレゼントした。

④ SNS を利用したプレゼント企画

会 場：大宮盆栽美術館

参加費：無料(ゆかた de 盆美&にんぱくに参加された方)

投稿件数：10件

開催概要：

「ゆかた de 盆美&にんぱく」企画の一環として、期間中に当館で撮影したゆかた姿の写真をInstagramに投稿いただいた方に、絵葉書またはミニ盆栽のいずれかを抽選でプレゼントした。



会場風景

(2) 館外イベント出展事業(アウトリーチ活動)

民間企業等の協力のもと、館外にて盆栽関連イベントを実施し、当館及び盆栽文化のPRを行った。

期日	イベント名称	場 所	内 容	観覧者数(人)
6月3日～6月28日	中央区役所盆栽写真展	中央区役所食堂棟(区民ギャラリー)	パネル展示	1,886人
9月12日～9月16日	さいたま市フェア	イオンモール与野	パネル展示、チラシ配布	—
10月5日	第22回南区ふるさとふれあいフェア	浦和競馬場	パネル展示	※28,000人
10月5日	糸魚川真柏植樹フェス2024	糸魚川市	チラシ配架、講演	※50人
10月26日～10月28日	2024年秋の盆栽村めぐり	大宮盆栽村	パネル展示、チラシ配架	—
11月3日	令和6年度北区民まつり	市民の森・見沼グリーンセンター	パネル展示	※48,000人
2月15日	サロンミニ講座「大宮の盆栽を世界にイギリス人が見た、日本の盆栽文化」	さいたま観光国際協会 国際交流センターぶらっとサロン	講座	29人
2月10日～2月14日	区役所出張展示	見沼区役所	パネル展示、盆栽展示	—
2月25日～2月28日	区役所出張展示	西区役所	パネル展示、盆栽展示	—
3月28日～4月1日	盆栽村100周年 盆栽の展示とワークショップ	そごう大宮店	パネル展示	—

※はイベント全体の来場者数

合計 1,915人

5 ミュージアム・サポーターの活動

期 間：4月～令和7年3月

会 場：大宮盆栽美術館

登録サポーター数：42人

担 当：立石見雪、中村麗理、菅原千華

概 要：

昨年度は、ガイド、ワークショップ、学校見学、資料整理、アカデミー実技講座補助の活動ごとにグループを作っていたが、グループを超えた交流が難しいという課題があったため、今年度はグループの枠組みを取り払って活動した。

11月から3月までは、盆栽庭園リニューアルに伴う臨時休館のため、ガイドや学校見学、ワークショップの活動が休止となり、代わりにガイド力向上のための研修やアウトリーチ活動を実施した。

また、令和7年に大宮盆栽村が100周年を迎えることから、盆栽文化を普及する新たなコンテンツとして「大宮盆栽村かるた」の制作を予定しており、かるたの文字札の文章と絵札のイラスト案をサポーターが作成した。

休館期間を活用して、サポーターのスキルアップを行えただけでなく、大宮盆栽村100周年に向けた機運醸成にもつながった。



活動一覧

事業グループ	事業名	日時または期間	実施回数	参加者数(延べ)	内容
ガイド	GW展示ガイド	5月3日(金祝)～5月5日(日祝) 10:00～12:00、13:00～15:00 30分ごとに開催	17回	42人	ゴールデンウィークの大盆栽まつりの開催にあわせた企画として、30分で館内をめぐるツアーガイドを実施した。日本語だけでなく、11時と13時に英語ガイドも実施した。
	団体ガイド	5月～10月	10回	18人	15人以上の団体向けに、30分程度の館内ガイドを実施した。
	ウェルカム・ミュージアム!	4月20日(土)～11月4日(月祝) 土曜日、日曜日、月曜日 10:00～12:00、13:00～15:00	54回	76人	来館者の鑑賞をサポートするため、質問や疑問に答える随時型のガイドを土曜日と日曜日、月曜日に実施した。
ワークショップ	定例ワークショップ	4月～10月 第3日曜日 10:00～11:30、14:00～15:30	11回	35人	子ども向けワークショップと盆栽ワークショップにおいて、盆栽づくりの補助を行った。
	夏休みワークショップ	7月20日(土)～8月4日(日) 内6日間	10回	45人	企画展「夏休み子どもぼんさい美術館」に関連して開催した子ども向けのコケ玉盆栽づくりのワークショップの補助を行った。
	盆栽相談デー	4月～10月 第4日曜日 13:30～15:30	7回	26人	受講生が培養している盆栽の悩みにアドバイスする講師の補助を行った。
学校見学	学校見学	5月10日(金)～10月25日(金)	17校 18回	59人	校外学習で来館した小学生が盆栽のについての理解を深められるように、鑑賞方法の解説や水やり体験などを実施した。
資料整理	資料整理	毎月第2日曜日、第4水曜日 13:00～16:00	15回	53人	所蔵図書や資料を体系的に整理し、将来的に活用するため、目録や解題作成を行った。
アカデミー	さいたま国際盆栽アカデミー盆栽展示	5月3日(金祝)～5月5日(日祝)	1回	展示8人 設営2人	さいたま国際盆栽アカデミー修了者が同講座で制作した盆栽やパネル化した体験記を展示し、アカデミー募集に向けたPRを行った。
	アカデミー補助	6月～3月の第1土曜日、第2土曜日 9:30～11:30、13:30～15:30	18回	66人	さいたま国際盆栽アカデミー初級・中級コースの実技講座の補助を同アカデミー中級修了者が行った。
その他	アウトリーチ活動	11月10日(日)	1回	7人	大古里公民館主催のワークショップにサポーターが講師として出講し、コケ玉盆栽づくりを実施した。
	研修	主に毎月第2日曜 9:30～11:30	16回	254人	全員を対象とした研修に加え、ガイド力向上を目的とした研修を実施した。

Ⅳ さいたま国際盆栽アカデミー

平成 29 年 4 月に開催された「第 8 回世界盆栽大会 in さいたま」を契機として、さいたま国際盆栽アカデミー（以下、盆栽アカデミーという）を開講している。世界に広がる BONSAI 文化の中心地・大宮盆栽村を舞台として、国内外における盆栽文化の普及を目的に、さいたま市大宮盆栽美術館が主催する、日本初の盆栽専門の公的な学習プログラムである。

盆栽に関する知識と技術を体系的に学び、盆栽に関心を持つ人や盆栽の普及に携わる人の人材育成の場になることを目指している。

令和 4 年度の日本人向けコースでは、オンライン講座の特性を活かして、初・中・上級の全コース共通で受講する共通講座を設けたが、各コースの目標と講座内容を精査し、共通講座の内、令和 5 年度に江戸園芸文化史を初級コースに、令和 6 年度は日本庭園史を中級コースに組み込んだ。残る煎茶文化史は令和 7 年度の上級コースに組み込む予定である。初級コースは応募者が定員を大幅に上回ることから、より多くの受講生を受け入れられるように定員を 4 人増やした。中級コースと上級コースは素材の見直しを行い、それぞれ赤松と五葉松を題材に実技講座を実施した。

1 日本人向けコース

	初級コース	中級コース	上級コース
対象	一般の方	初級コースを修了した方	中級コースを修了した方
期間 時間	6月1日～令和7年3月1日 【講義】10:00～11:30 【実技】A クラス 9:30～11:30 B クラス 13:30～15:30	6月8日～令和7年3月8日 【講義】10:00～11:30 【実技】A クラス 9:30～11:30 B クラス 13:30～15:30	6月23日～令和7年3月23日 【講義】10:00～11:30 【実技】9:30～11:30
講座数	7回	9回	10回
参加費	17,000円	26,800円	36,200円
定員	16人（A・Bクラス各8名）	12人（A・Bクラス各6名）	6人
修了者数	15人	12人	6人
概要	盆栽の観賞方法や歴史、盆栽作りや培養管理等、盆栽の知識を幅広く学習することを目的に開講した。	樹形構想や針金掛け等の盆栽作りの技術と、盆栽と密接な関係がある水石等の文化についての知識向上を目的に開講した。	初級・中級コースで学んだ技術の定着と、盆栽文化を普及する人材の育成を目的に開講した。
講座内容 講師	第1回【講義】盆栽の鑑賞法・種類と樹形 講師：当館学芸員	第1回【実技】盆栽制作 (赤松の芽切りと樹形構想) 講師：日本盆栽協会インストラクター	第1回【実技】盆栽制作 (樹形構想・松柏盆栽の手入れ) 講師：木村剛（盆栽かへるで）
	第2回【実技】盆栽制作 (鹿島もみじの季節の手入れ) 講師：日本盆栽協会インストラクター	第2回【講義】盆栽の培養管理について 講師：当館技師	第2回【講義】盆栽の審美眼を持つために 講師：加藤崇寿（蔓青園）
	第3回【講義】盆栽の歴史 講師：当館学芸員	第3回【実技】盆栽制作 (赤松の芽かきと古葉取り) 講師：日本盆栽協会インストラクター	第3回【実技】盆栽制作 (剪定・ジン作り①) 講師：木村剛（盆栽かへるで）
	第4回【実技】盆栽飾りの基礎知識 講師：日本盆栽協会インストラクター	第4回【講義】大宮盆栽村について 講師：当館学芸員	第4回【実技】盆栽制作 (剪定・ジン作り②) 講師：木村剛（盆栽かへるで）
	第5回【講義】江戸園芸文化史 講師：椎名和美（(公社)園芸文化協会）	第5回【実技】盆栽制作（針金掛けの基礎①） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第5回【実技】盆栽制作（針金掛け①） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
	第6回【実技】盆栽制作 (培養管理と鹿島もみじの手入れ) 講師：日本盆栽協会インストラクター	第6回【実技】盆栽制作（針金掛けの基礎②） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第6回【講義】盆栽の魅力伝えるために 講師：山田香織（清香園）
	第7回【実技】盆栽制作 (鹿島もみじの植え替え) 講師：日本盆栽協会インストラクター	第7回【講義】水石について 講師：加藤崇寿（日本水石協会）	第7回【実技】盆栽制作（針金掛け②） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
		第8回【講義】日本庭園史 講師：服部勉（東京農業大学）	第8回【実技】盆栽制作（針金掛け③） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
		第9回【実技】盆栽制作（赤松の植え替え） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第9回【講義】盆栽文化を広げるために 講師：平尾成志（成勝園）
			第10回【実技】盆栽制作（植え替え） 講師：木村剛（盆栽かへるで）

2 外国人向け中級コース (盆栽愛好者向け講座)

対 象：盆栽愛好家の外国人

参加費：40,000 円（1 団体）

開催概要：

訪日盆栽ツアーで来館する盆栽愛好者を主な対象とし、大宮盆栽村の各園が持つ理論と技術を学び、帰国後に実践できる人材育成を目的としたコース。

前半は、「盆栽総論」として盆栽や盆栽村の歴史についての解説を行い、後半は、各盆栽園から招いた講師による講演を行うプログラムとなっている。

なお、令和6年度は申込みがなかったため実施していない。



サポーターによる補助

3 担当

立石見雪、中村麗理、中村慎太、小棚明生



日本人向けコースの実施風景（講義講座）



日本人向けコースの実施風景（実技講座）

V 国際交流

1 米国立盆栽・盆景園との姉妹館交流

令和6年度は、同園の学芸員や専門員と、令和7年度に迎える大宮盆栽村の開村100周年に関する情報交流を行った。

また、同園は令和8年に開園50周年を迎えることから、令和7年度には一般社団法人日本盆栽協会とともに記念イベント実施の検討をはじめるとの連絡があったため、姉妹館として同イベントへの協力は惜しまない旨を伝達した。

2 オーストラリア首都特別地域政府立キャンベラ樹木園との姉妹館交流

令和6年度は、同園の学芸員と、令和7年度に迎える大宮盆栽村の開村100周年に関する情報交流を行った。

3 その他の交流

○「Bonsai Culture Expo」主催者との情報交流

パリ市が運営するパリ花公園内には、1989年に常設の盆栽展示施設が開設されている。同公園を会場として、パリ市や日本国大使館の協賛により、2021年から外部協力者が大規模な盆栽イベント「Bonsai Culture Expo」を開催している。

令和6年度は、一昨年度から引き続き当館のPRビデオをイベント会場で放映いただいたほか、令和7年度に向けた協力体制の推進について、来日した主催者と情報交換を行った。

○海外盆栽展示施設との情報交流

来日時の面談やオンライン会議により、以下の海外盆栽展示施設の担当者らと情報交流を行った。

・アルコベンダス盆栽博物館（スペイン）、ル

イス・バリエッホ館長（面談）

・インターナショナル・ボンサイ（アメリカ）、
ウィリアム・ヴァラヴァニス園長（面談）

・王立植物園（スペイン）、アレックス・ゴメ
ス学芸員（面談）

・王立植物園（キューガーデン、イギリス）、
サイモン・トゥーマー学芸員（オンライン）

VI 調査研究および社会貢献活動

1 執筆・寄稿・講師・出演

- (1)菅原千華・立石見雪「収蔵品紹介」、『盆栽春秋』614号・616号・618号・621号・622号・623号・624号・625号、日本盆栽協会（寄稿）。
- (2)菅原千華「大宮盆栽村開村100年盆栽村の歴史—現れた盆栽のユートピア」、令和6年度第6回映像公開ライブラリー上映会と講演「大宮盆栽村の百年」、SKIPシティ彩の国ビジュアルプラザ4階映像ホール、令和7年2月1日（講師）。

Ⅶ 資料

1 購入資料

本年度は、卓（地板）4件、絵画資料等1件、歴史・民俗資料7件の計12件を購入した。これらの資料は、令和7年2月13日に開催された、さいたま市盆栽資料等選考評価委員会を経て、当館所蔵品として承認された。

購入資料一覧

分類	No	資料名	作者等	点数	年代	寸法 (縦×横×厚/高cm)
卓	1	正方高卓	不詳	1台	不詳(現代)	30.2×30.2×45.7
	2	天然彫地板	不詳	1台	不詳(現代)	54.4×97.0×2.8
	3	天然彫地板	不詳	1台	不詳(現代)	40.7×49.2×1.7
	4	天然彫地板	不詳	1台	不詳(現代)	42.0×54.2×2.0
絵画資料等	5	「新板うえきつくし」	画：歌川国利 印刷兼発行： 瀧谷市大夫	1枚	明治31年 (1898)	34.9×24.8
歴史・民俗資料	団子坂菊人形引札一式(13枚)					
	6	菊人形引札 「造り菊」	団子坂 葵園松屋	1枚	江戸時代後期 ～明治時代	24.0×33.0
	7	菊人形引札 「造菊生人形細工」	団子坂 はなや	1枚	明治時代 (1968～1912)	24.4×32.9
	8	菊人形引札 「造菊大人形」	団子坂下 植木屋浅五郎	1枚	明治時代 (1968～1912)	24.0×33.7
	9	菊人形引札 「大仕掛廻り舞台忠 臣蔵」	団子坂 高木福太郎	1枚	明治時代 (1968～1912)	24.3×33.4
	10	菊人形引札 「造菊大廻掛」	薫風園光三郎	1枚	明治時代 (1968～1912)	24.5×33.2
	11	菊人形引札 「美術菊細工大仕掛」	団子坂 植梅	1枚	明治時代 (1968～1912)	25.0×34.4
	12	菊人形引札 「菊細工生人形大道具 廻り舞台せり出し」	植重	1枚	明治34年 (1901)	24.0×34.5
	13	菊人形引札 「菊細工生人形廻り 舞台せり出し」	植惣	1枚	明治32年 (1899)	23.5×33.4
	14	菊人形引札 「菊細工生人形大道具 廻り舞台大仕掛」	だんご坂 植惣	1枚	明治34年 (1901)	23.1×31.6
	15	菊人形引札 「大仕掛菊細工大人 形」	団子坂下 植種	1枚	明治時代 (1968～1912)	24.4×34.7
	16	菊人形引札 「大仕掛菊細工」	団子坂下 植種	1枚	明治時代 (1968～1912)	24.3×32.4
	17	菊人形引札 「菊細工生人形大道具 大仕掛せり出し廻り 舞台」	だんご坂 植半	1枚	明治32年 (1899)	23.4×32.3
	18	菊人形引札 「菊細工生人形大道具 大仕掛せり出し廻り 舞台」	だんご坂 植半	1枚	明治34年 (1901)	24.6×36.9
	19	石板画 「団子坂菊花」	東京日本堂	1枚	明治32年 (1899)	19×11.7×0.9
	20	「薔薇名花集」	種樹家連	1枚	明治21年 (1888)5月	36.6×25.6
	21	「重訂本草綱目啓蒙」	口述：小野職博(蘭山)／録：小野職孝(蕙畝)／編輯：井口望之(楽三)	20冊	弘化4年 (1847)9月	25.5×18.0× 0.8～1.5
	22	「本草綱目啓蒙図譜」 巻八、巻九 草部	編輯：井口望之(楽三)／因：服部雪斎、坂本純沢	4冊	嘉永3年 (1850)3月	26.0×17.6× 1.0～1.4
	23	「絵入万年青培養法」	著述：猪飼定次郎／出版：池村瀧兵衛	2冊	明治16年 (1883)	22.5×15.5×0.5
24	「大宮」 (鳥観図・観光パンフレット)	発行：埼玉県大宮保勝会／図：吉田初三郎	1枚	昭和9年 (1934) 10月30日	22.5×14.5×0.7	

このほかに盆栽の植え替えに使用する盆器を7点購入した。

No	分類	資料名	作者等	年代	寸法 (高×幅×奥行cm)
1	実用盆器	外縁楕円鉢	板山	現代	18.5×73×57
2		外縁楕円鉢	緑巳斉	現代	9.5×78×50
3		朱泥隅入上帯長方鉢	不詳(中国産)	不詳	21×74×55
4		紫泥上帯長方鉢	斉田三歩	現代	8.5×91×50
5		白釉楕円水盤	寺畑真山	現代	4.5×75×42
6		白釉隅切長方鉢	片岡黎鳳	現代	6.4×47.5×33
7		均釉輪花式鉢	片岡黎鳳	現代	17×26.5×26.5

2 寄贈資料

寄贈資料一覧

No	分類	資料名	作者等	点数	鉢	寸法 (高×幅×奥行cm)	寄贈者
1	盆栽	黒松	不詳	1点	外縁長方鉢	120×110×110	個人
2		黒松	不詳	1点	隅切長方鉢	95×120×90	個人
3		五葉松	不詳	1点	外縁長方鉢	112×100×85	個人
4		五葉松	不詳	1点	額面長方鉢	105×80×90	個人
5		真柏	不詳	1点	木瓜式長方鉢	100×90×85	個人

3 収蔵資料利用

(1)館外貸し出し (1件)

貸出先：一般社団法人日本水石協会

目的：同協会主催「第62回日本水石名品展」
(会期：令和7年2月14日～18日、東京都美術館)における招待出品とするため。

資料：水石 C-026 加茂川石
盆器 B-303 瑠璃釉長方水盤
卓 D-027 花梨中卓

(2)特別使用 (9件) ※撮影または原板の使用

内訳：盆栽12点、絵画資料等15点、
歴史・民俗資料4点

4 収蔵資料件数

収蔵資料件数一覧

分類記号	分類	令和5年度まで	令和6年度登録	計
A	盆栽	129	0	129
B	盆器	342	0	342
C	水石	69	0	69
D	卓	97	4	101
E	絵画資料等	178	1	179
F	歴史・民俗資料	77	19	96
合計		892	24	916

5 図書寄贈者一覧

朝霞市博物館
跡見学園女子大学 花蹊記念資料館 学芸員課程
石川県立美術館 国立工芸館
一般社団法人 日本皐月協会
一般社団法人 日本水石協会
一般社団法人 日本盆栽協会
入間市博物館
エルメス財団
大宮郷土史研究会
太田記念美術館
香川県立ミュージアム
春日部市郷土資料館
株式会社 エスプレス・メディア出版
株式会社 NHK エンタープライズ 中部支社
株式会社 近代出版
株式会社 講談社
株式会社 モデルノ
春日部市郷土資料館
川口市立アートギャラリー・アトリア
川越市立博物館
川越市立美術館
川崎市市民ミュージアム
行田市郷土博物館
久喜市郷土資料館
熊谷市立熊谷図書館
公益財団法人 園芸文化協会
公益財団法人 鳥取市文化財団
公益財団法人 日本植物園協会
公益財団法人 根津美術館
国立工芸館
埼玉県立川の博物館
埼玉県立さきたま史跡の博物館
埼玉県立自然の博物館
埼玉県立平和資料館
埼玉県立歴史と民俗の博物館
さいたま市岩槻人形博物館
さいたま市うらわ美術館
さいたま市総務局総務部アーカイブズセンター
さいたま市立土呂中学校
さいたま市立博物館
さいたま市立漫画会館
埼玉新聞社
さいたま文学館
佐賀県立九州陶磁文化館
静岡県立美術館
すみだ郷土文化資料館
草加市立歴史民俗資料館
竹田科学振興財団
たばこと塩の博物館
玉川大学教育博物館
東京国立近代美術館
東京都江戸東京博物館
独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
独立行政法人造幣局
戸田市立郷土博物館
鳥取市歴史博物館
名古屋市東山植物園
西尾市岩瀬文庫
日本園芸協会
野田市郷土博物館・市民会館
飯能市立博物館
富士見市立資料館
富士見市立難波田城資料館
富士見市立水子貝塚資料館
府中市郷土の森博物館
文京区立森鷗外記念館
文京ふるさと歴史館
マドリード王立植物園 アレックス・ゴメス
宮代町郷土資料館
INTERNATIONAL BONSAI
Union del Bonsai Espanol-UBE
Editions LR PRESSE
IMPRIMENDA
Mais Co. Ltd
Minuteman Press Pittwater
Union del Bonsai Espanol-UBE

Ⅷ 広報活動

1 ミュージアムレター「ジンシャリ」

発行：年間4回（季刊）

49号（4～6月）、50号（7～9月）

仕様：A4判2つ折り（A5判）

内容：

45号からリニューアルを行い、44号までのA3判2つ折り（A4判）の体裁から、持ち帰りに手軽なサイズであるA4判2つ折り（A5判）へと変更し、展覧会やイベント等の告知を中心とした「ニュースレター」から、読み物を中心とした「ミュージアムレター」に変更した。

記事は「展示の裏側」、「職人のしごと」、「サポーター通信」など、展覧会では見ることのできない美術館の“裏側”を紹介する内容とし、来館者に隠れた美術館の魅力を楽しめるように工夫した。

本誌はペーパーレス化推進のため、従来の外部配布を取りやめ、来館者サービス向上の一環として主に館内配布に限定するほか、ホームページにウェブサイト版ページを新たに作成し、引き続きPDFファイル版のダウンロードサービスを継続した。

なお、令和6年度は庭園リニューアルに伴う臨時休館（11月5日から令和7年3月30日）のため、発行は2回のみとなった。

※「ジンシャリ」とは、盆栽の見どころとなる「ジン」および「シャリ」（枝や幹の一部が枯れて白く残る部位。枝をジン、幹をシャリと呼ぶ）からなる誌名。



「ジンシャリ」50号表紙

2 公式 SNS の運用

公式 Facebook 及び Instagram にて、展示中の盆栽画像の投稿や、展示・イベント情報の告知を定期的に行った。

当館 Facebook の特徴として、「いいね！」の件数の大半を海外の閲覧者が占めていることを挙げられる。国別フォロワーの割合も、日本以外のフォロワーの割合がおよそ90%と大半を占めている。そのため、投稿にあたっては原則として日英表記としている。年代別のフォロワーの割合は、35～44歳の年代が29%と最も多く、45～54歳の年代が27%、55～64歳の年代が16%と幅広い年代での興味関心の高さが伺える。

同様に、Instagram もコメントの大半が英語であり、日本以外のフォロワーの割合がおよそ80%を占めることから、投稿にあたっては原則として日英表記としている。年代別フォロワーの割合は、35～44歳の年代が34%と最も多く、次いで45～54歳が25%、25～34歳の年代が20%と Facebook と比較して若い世代の興味関心が高いことが伺える。

(1) Facebook

開設日：平成25年7月25日

フォロワー数：62,152件(令和7年3月31日時点)

国別フォロワー割合：（令和8年2月28日時点）

順位	国・地域名	割合(%)
1	日本	12.5
2	台湾	8.7
3	アメリカ合衆国	7.5
4	タイ	7.1
5	ベトナム	5.4
6	インドネシア	4
7	ブラジル	4
8	マレーシア	4
9	メキシコ	3.7
10	イタリア	3.6

年代別フォロワー割合：（令和8年2月28日時点）

順位	年代	割合(%)
1	35～44歳	29
2	45～54歳	26.4
3	55～64歳	16.2
4	25～34歳	15.4
5	65歳以上	12.1

(2) Instagram

開設日：平成 29 年 12 月 14 日

フォロワー数：38,233件(令和7年3月31日時点)

国別フォロワー割合：(令和8年2月28日時点)

順位	国・地域名	割合(%)
1	日本	22.5
2	アメリカ合衆国	9.6
3	インドネシア	8.7
4	ブラジル	5.8
5	イタリア	3.9
6	スペイン	3.8
7	メキシコ	2.2
8	オーストラリア	2.2
9	台湾	2
10	ドイツ	2

年代別フォロワー割合：(令和8年2月28日時点)

順位	年代	割合(%)
1	35～44歳	33.6
2	45～54歳	25.4
3	25～34歳	20.4
4	55～64歳	12.5
5	65歳以上	6.2

3 主な広報実績

取材媒体	対応実績数	主な掲載媒体(順不同)
テレビ・ラジオ	25	NHK、テレビ埼玉、フジテレビ、テレビ朝日、中国報道テレビ、日本経済新聞社、BS朝日、日本テレビ、J-WAVE(81.3 FM)
新聞	18	埼玉新聞、東京新聞、読売新聞、朝日新聞、日本経済新聞、株式会社ジャパンタイムズ、毎日新聞、サンケイリビング新聞社、時事通信
雑誌・情報誌	21	株式会社講談社「週刊現代」、株式会社光文社「女性自身」、東武鉄道株式会社「マンスリーとーぶ」、株式会社昭文社「まっふるマガジン まっふる埼玉」、株式会社アドファースト「たまログ 8月号・10月号」、成美堂出版株式会社「歩く地図 東京近郊散歩 2025-2026」、株式会社中広メディアソリューションズ「情報誌ARIFT(旧ぼど)」、株式会社よみうり地域サービスセンター「埼玉よみうり9月20日号「秋のおでかけ特集」」、川口信用金庫「あるふ特別編集「かわしん〜川口信用金庫〜」」、メイツ出版株式会社「首都圏から行く個性派ミュージアム案内〜おとなの好奇心を満たす博物館へ」、株式会社エスプレス・メディア出版「盆栽世界」、株式会社近代出版「近代盆栽(12月号、1月号)」、株式会社JTBバブリッシング「大人の日帰り旅 首都圏2026」、「あるふ埼玉 川越 秩父 鉄道博物館26」、一般財団法人自治体国際化協会「自治体国際化フォーラム2025年3月号」、株式会社マイス「The Expat's Guide to Japan」、一般社団法人 アコレおおみや「アコレおおみや」
ウェブサイト	15	グローバル人材育成センター埼玉(メールマガジン)、株式会社アドファースト「たまログ」、株式会社エスキューブ「YouTube「WABIチャンネル」」、株式会社 中村コミュニケーションズ「埼玉日和」、株式会社JR東日本びゅうツーリズム&セールス「and trip.」、一般社団法人アコレおおみや(ホームページ)、プラザホームズ株式会社「Japan Living Guide」、Fashion Press編集部(ホームページ)、アダチ版画研究所「北斎今昔全国浮世絵展カレンダー【2024年10-12月】」、サスタビ運営事務局ホームページ、株式会社ブレイン「日本政府公式SNS「JapanGov.」、しゅんきゅうフルーツチャンネル、昭文社オリコ観光プラン編集部「オリコ70周年記念サイト」、株式会社Fun Japan Communications「NAVERブログ」、株式会社 ハースト婦人画報社「リジェス デジタル」
さいたま市・行政機関(市外)	9	さいたま市文化政策室、さいたま市観光国際課、さいたま市道路計画課、さいたま市北区役所総務課、埼玉県観光課、関東運輸局観光部観光地域振興課、さいたま市文化振興事業団
その他	1	株式会社ノックオンワード「デルベス家と旅行中 - 日本篇」

合計 89 件

IX ミュージアムグッズ

令和6年度に取扱いをしたミュージアムグッズは以下のとおり。(価格は税込み)

	品名	価格
図録		
1	美術コレクション名品選	800
2	錦秋 盆栽村の美と歴史 Part1	500
3	盆栽×写真 vol.1 大和田良写真展「FORM - SCENERY SEEN THROUGH BONSAI -」	2,940
4	盆栽×写真 vol.2 糸崎公朗作品展「Kimio Itozaki Bonsai PHOTO WORKS」	1,600
5	盆栽につもる雪-「鉢木」物語の世界	1,200
6	大宮盆栽村の歴史展Ⅲ 世界の BONSAI へ 1945-1989	300
7	「第8回世界盆栽大会 in さいたま」記念特別展 盆栽-さいたま発の世界ブランド 盆栽展記念帖	500
8	三代目尾上菊五郎改め、植木屋松五郎?-二両役者は盆栽狂	1,000
9	シリーズ・現代の盆栽家I 竹山浩-自然を巡る、雑木の匠	500
10	シリーズ・現代の盆栽家II 木村正彦-あそびの領分	500
11	国風盆栽展の誕生-「美術館」を目指した昭和初期の盆栽	1,000
12	盆栽美術本 時空の美-盆栽 Beauty of Space and Time-BONSAI	2,000
13	Bonsai, Beyond the Border 海を越えた盆栽家 吉村西二-ニューヨーク、1958	500
14	シリーズ・現代の盆栽家III 山田登美男-盆栽、美の探求	500
15	ガイドブック	500
16	〈盆栽〉の物語 (日・英)	300
17	大宮盆栽村の誕生-100年のあゆみ (日・英)	300
18	煎茶と盆栽-「盆栽」の夜明け	600
19	ウキヨエ植物大図鑑-「盆栽づくし」を楽しみつくす!	1,000
手ぬぐい		
20	日暮し	1,200
21	BONSAI	1,200
22	青龍	1,800
23	額装用日暮し	1,800
雑貨		
24	クリアファイル (日暮し)	250
25	クリアファイル (鉢植えつくし)	200
26	Tシャツ	1,600
27	絵葉書	100
28	絵葉書 (大判)	150
29	割箸 (5膳セット)	250
30	ハンカチ (紺・緑)	700
31	トートバック (縦型)	1,000
32	トートバック (横型)	1,200
33	マスキングテープ	500
34	初心者向け道具セット	9,800
35	メモ帳 (寿雲・思いのまま)	500
36	傘	2,000
37	ネックストラップ	1,200
38	オリジナル盆器	12,000
39	マグネット (座敷飾り・千代乃松)	200
40	アクリルスタンド (獅子の舞)	700
41	オリジナル手提げ袋	50
食品		
42	大宮盆栽だー!! ※館内飲食の場合は203円	200
43	サブレ (1枚)	150
44	サブレ (5枚入り)	700
45	煎餅 (1枚)	150
46	煎餅 (6枚入り)	900

X 入館者数等

1 入館者数

令和6年度

(人)

	一般	65歳以上	高大生	小中学生	年間パスポート 等利用	講座・学校・ 視察等	開館日数	1日あたりの 入館者数	合計
4月	2,771	1,140	117	117	132	725	26	192	5,002
5月	4,295	1,726	151	224	179	2,698	26	357	9,273
6月	2,170	944	84	102	130	1,001	23	193	4,431
7月	1,671	508	85	78	103	1,073	27	130	3,518
8月	733	155	51	19	47	586	13	122	1,591
9月	2,558	869	164	129	156	1,024	26	188	4,900
10月	3,068	1,478	144	119	141	1,315	26	241	6,265
11月	738	160	17	36	43	315	4	327	1,309
12月	0	0	0	0	0	84	0	0	84
1月	0	0	0	0	0	46	0	0	46
2月	0	0	0	0	0	41	0	0	41
3月	1,802	986	74	106	113	638	10	372	3,719
計	19,806	7,966	887	930	1,044	9,546	181	222	40,179

※年間パスポート購入時の利用は、一般、65歳以上、高大生、小中学生の区分に含む。

※「1日あたりの入館者数」の合計欄には、年間を通した1日あたりの入館者数を掲載。

(参考資料)

(人)

	一般	65歳以上	高大生	小中学生	年間パスポート 等利用	講座・学校・ 視察等	開館日数	1日あたりの 入館者数	合計
平成22年度	30,990	25,806	-	970	587	7,210	295	222	65,563
平成23年度	21,931	16,430	-	812	312	10,850	298	169	50,335
平成24年度	19,128	14,152	467	767	315	14,570	297	166	49,399
平成25年度	20,899	13,268	520	779	330	15,131	301	169	50,927
平成26年度	24,180	15,943	609	863	6,230	12,736	305	199	60,561
平成27年度	30,026	19,536	790	1,013	5,129	17,223	306	241	73,717
平成28年度	28,793	17,671	720	1,005	5,425	22,013	309	245	75,627
平成29年度	39,911	27,450	703	1,374	6,196	20,367	307	313	96,001
平成30年度	29,676	17,306	900	1,098	4,570	18,610	307	235	72,160
令和元年度	27,143	14,901	901	1,017	4,403	14,843	281	225	63,208
令和2年度	10,692	3,399	565	467	1,924	3,021	258	78	20,068
令和3年度	15,237	5,150	659	932	2,380	6,956	307	102	31,314
令和4年度	21,286	8,148	995	941	3,146	9,144	309	141	43,660
令和5年度	27,812	10,593	1,205	1,344	4,607	10,722	307	183	56,283

※開館からの累計観覧者数(～R6.3.31) 849,002

2 展覧会別入館者数(企画展・特別展)

(人)

No	名称	会場	会期	開館 日数	1日あたりの 入館者数	入館者数
1	企画展「さつき盆栽展」	コレクションギャラリー	5月24日(金)～6月2日(日)	9	242	2,175
2	企画展「山水涼景～水石の世界」	コレクションギャラリー	7月19日(金)～9月4日(水)	29	136	3,955
3	企画展「夏休み子どもほんさい美術館」	企画展示室	7月20日(土)～8月28日(水)	22	136	2,993
4	企画展「芭蕉の旅路～「盆石」でめぐる」	コレクションギャラリー	9月6日(金)～9月18日(水)	12	174	2,090
5	特別展「ウキヨエ植物大図鑑～ 『盆栽づくし』を楽しみつくす!」	企画展示室	9月21日(土)～11月4日(月祝)	38	243	9,219
6	企画展「第33回 作家展(日本盆栽作家協会)」	コレクションギャラリー	10月11日(金)～10月30日(水)	18	264	4,760

3 外国人入館者数

令和6年度 (人)

順位	国・地域名	人数
1	アメリカ	1,285
2	オーストラリア	697
3	フランス	369
4	ドイツ	331
5	中華人民共和国	300
6	イギリス	240
7	イスラエル	181
8	インド	178
9	カナダ	177
10	台湾	169
合計 142ヶ国・地域		5,946

令和5年度 (人)

順位	国・地域名	人数
1	アメリカ	1,890
2	オーストラリア	877
3	中華人民共和国	600
4	フランス	491
5	ドイツ	456
6	イギリス	397
7	台湾	306
8	イタリア	301
9	スペイン	262
10	イスラエル	252
合計 106ヶ国・地域		8,721

令和4年度 (人)

順位	国・地域名	人数
1	アメリカ	785
2	オーストラリア	210
3	ドイツ	178
4	イギリス	159
5	中華人民共和国	132
6	フランス	122
7	台湾	94
8	韓国	91
9	タイランド	88
10	イタリア	83
合計 90ヶ国・地域		2,988

4 施設利用

講座室：33件

※ふれあい広場は大宮盆栽協同組合が通年利用し、盆栽等を販売している。

XI 条例・規則

○さいたま市大宮盆栽美術館条例

平成21年7月17日

条例第30号

改正 平成25年12月26日条例第46号

平成31年3月13日条例第2号

(設置)

第1条 盆栽に関する知識及び教養の向上を図り、盆栽文化の振興に寄与するため、さいたま市大宮盆栽美術館（以下「美術館」という。）をさいたま市北区土呂町2丁目24番地3に設置する。

(事業)

第2条 美術館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 盆栽その他の盆栽文化に関する資料（以下「盆栽資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 盆栽文化に関する調査及び研究並びにその成果の展示、出版等に関すること。
- (3) 講演会、講習会等の主催、広報の発行その他の盆栽文化に関する普及活動に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、美術館の設置の目的を達成するために必要な事業

(休館日)

第3条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 木曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日である場合を除く。）
- (2) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで

2 市長は、前項の規定にかかわらず、施設の管理運営上特に必要があると認めるときは、臨時に休館日进行定め、又は休館日に開館することができる。

(開館時間等)

第4条 美術館の開館時間は、次の各号に掲げる期間に応じ、当該各号に定めるとおりとする。ただし、常設展示室、企画展示室及び盆栽庭園へ入場することができる時間は、閉館する30分前までとする。

- (1) 3月から10月までの期間 午前9時から午後4時30分まで
- (2) 前号に掲げる期間以外の期間 午前9時から午後4時まで

2 市長は、前項に規定する開館時間又は入場時間を、事情により変更することができる。

(観覧料)

第5条 美術館が展示する盆栽資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、市長は、特別の盆栽資料（美術館が所蔵しない盆栽資料であって、その展示に特別の費用を要すると市長が認めるものをいう。別表第1において同じ。）を展示するときは、別表第1に

定める額の2倍に相当する額以下の範囲内において別に観覧料の額を定めることができる。

(特別使用の許可等)

第6条 美術館が所蔵している盆栽資料について、撮影又は原板の使用(第17条第2項第3号において「特別使用」という。)をしようとする者は、規則で定めるところによりあらかじめ市長の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める特別使用料を納付しなければならない。

(施設等の利用)

第7条 企画展示室(盆栽広場を含む。以下同じ。)、講座室(盆栽テラスを含む。以下同じ。)及びこれらの施設の利用に伴う附属設備(以下「施設等」という。)は、美術館の事業に供していない期間については、美術館の設置の目的に即した利用に供することができる。

2 前項に規定する施設等及び駐車場を引き続いて利用することができる期間は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める期間とする。ただし、市長は、事情によりこれを変更することができる。

- (1) 企画展示室 15日
- (2) 講座室 7日
- (3) 附属設備 利用する企画展示室又は講座室の引き続いて利用することができる期間と同一の期間
- (4) 駐車場 1日

3 施設等を利用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

4 市長は、前項の許可(変更の許可を含む。)をする場合において、施設等の管理上必要な条件を付することができる。

5 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、施設等の利用を許可しない。

- (1) 施設等の設置の目的に反するとき。
- (2) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (3) 施設等を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (4) 物品(展示する盆栽資料に係る図録、絵はがき、ポスターその他これらに類するものを除く。)の販売を目的とするとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき又は市長が適当でないと認めるとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第8条 前条第3項に規定する利用の許可(変更の許可を含む。)を受けた者(以下「利用者」という。)は、その権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別の設備等の制限)

第9条 利用者は、施設等を利用するに当たって、特別の設備をし、又は備付けの物品以外の物品を利用する場合は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。

(利用の許可の取消し等)

第10条 市長は、利用者が次の各号のいずれかに該当するとき又は施設等の管理上特に必要があるときは、

当該許可に係る利用の条件を変更し、若しくは利用を停止し、又は当該許可を取り消すことができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。

(2) 偽りその他不正の行為により利用の許可を受けたとき。

(3) 利用の許可の条件又は関係職員の指示に従わないとき。

2 前項の措置によって利用者に損害が生じることがあっても、市は、その責めを負わない。

(使用料の納付)

第11条 利用者及び駐車場を利用しようとする者は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。

2 附属設備を利用しようとする者は、規則で定める使用料を納付しなければならない。

(入館の禁止等)

第12条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、美術館への入館を禁止し、又は退館を命じることができる。

(1) 美術館内の秩序を乱し、若しくは他の入館者に迷惑を及ぼし、又はこれらのおそれがあるとき。

(2) 盆栽資料又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。

(3) 前2号に掲げるもののほか、施設の管理上支障があるとき。

(観覧料等の減免)

第13条 市長は、必要があると認めるときは、第5条に規定する観覧料、第6条第2項に規定する特別使用料及び第11条に規定する使用料(以下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第14条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長は、特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(原状回復の義務)

第15条 利用者は、施設等の利用が終わったときは、速やかに当該施設等を原状に回復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。第10条第1項の規定により利用の停止又は許可の取消しの処分を受けたときも、同様とする。

2 利用者が、前項の規定による義務を履行しないときは、市長において原状に回復し、これに要した費用は、利用者の負担とする。

(損害賠償の義務)

第16条 故意又は過失により盆栽資料又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失した者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(指定管理者による管理)

第17条 市長は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であって市長が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に、施設の管理に関する業務のうち、次に掲

げるものを行わせることができる。

- (1) 第2条に規定する事業の実施に関すること。
- (2) 施設の維持管理に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認める業務

2 市長は、前項各号に掲げるもののほか、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- (1) 第3条第1項の規定にかかわらず、施設の管理運営上特に必要があると認めるときに、市長の承認を得て、臨時に休館日を定め、又は休館日に開館すること。
- (2) 第4条第1項の規定にかかわらず、施設の管理運営上特に必要があると認めるときに、市長の承認を得て、開館時間又は入場時間を変更すること。
- (3) 第6条第1項の規定により、特別使用を許可すること。
- (4) 第7条第2項の規定にかかわらず、施設等の管理運営上特に必要があると認めるときに、市長の承認を得て、引き続いて利用することができる期間を変更すること。
- (5) 第7条第3項の規定により、施設等の利用の許可若しくは許可に係る事項の変更の許可をすること又は同条第4項の規定により、許可に条件を付すること。
- (6) 第7条第5項の規定により、同項第1号から第4号までのいずれかに該当すると認めるとき又は施設等の管理上支障があるとき若しくは許可をすることが適当でないとき認めるときに、許可をしないこと。
- (7) 第9条の規定により、特別の設備をし、又は備付けの物品以外の物品を利用する場合に許可をすること。
- (8) 第10条第1項の規定により、同項第1号若しくは第2号のいずれかに該当するとき、利用の許可の条件若しくは指定管理者の指示に従わないとき又は施設等の管理運営上特に必要があるときに、許可に係る利用の条件を変更し、若しくは利用を停止し、又は許可を取り消すこと。
- (9) 第12条の規定により、美術館への入館を禁止し、又は退館を命じること。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成22年3月28日から施行する。

附 則 (平成25年12月26日条例第46号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置の原則)

2 次項から第9項までに定めるものを除くほか、次の表の左欄に掲げる規定は、それぞれ、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後の同表の右欄に掲げる行為に係る使用料、利用料金、手数料等について適用し、施行日前の同欄に掲げる行為に係る使用料、利用料金、手数料等については、なお従前の例による。

略	略
第33条の規定による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例別表第1の規定	納付
第33条の規定による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例別表第2及び別表第3の規定	利用
略	略

附 則 (平成31年3月13日条例第2号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

(使用料等に関する経過措置)

2 この条例(第1条、第10条から第12条まで、第15条、第16条、第17条(同条中第6条の改正に限る。)、第18条、第30条及び第51条から第53条までの規定を除く。)による改正後のそれぞれの条例の規定は、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後に行う施設の使用等に係る使用料、利用料金等(以下「使用料等」という。)で施行日以後に納付するものについて適用し、施行日前に行った施設の使用等に係る使用料等で施行日前又は施行日以後に納付するもの及び施行日以後に行う施設の使用等に係る使用料等で施行日前に納付するものについては、なお従前の例による。

別表第1(第5条関係)

(一部改正〔平成25年条例46号・31年2号〕)

区 分	観覧料 (1人1回につき)		年間観覧料 (個人に限る。)
	個人	団体 (20人以上)	
一般	310円	200円	1,040円
高校生・大学生・65歳以上	150円	100円	520円
小学生・中学生	100円	50円	310円

備考

- 1 「一般」とは、15歳以上65歳未満の者で、次項及び第3項に該当する者以外のものをいう。
- 2 「高校生・大学生」とは、高等学校、専修学校及びこれらに準ずる学校並びに大学の生徒及び学生をいう。
- 3 「小学生・中学生」とは、義務教育諸学校の児童及び生徒をいう。
- 4 「年間観覧料」とは、同一人が1年間美術館の展示する盆栽資料(特別の盆栽資料を除く。)を観覧しようとする場合の観覧料をいう。

別表第2(第6条関係)

(一部改正〔平成25年条例46号・31年2号〕)

区 分	特別使用料(1点1回につき)
撮 影	学術研究用 540円
	そ の 他 4,400円
原板使用	学術研究用 540円
	そ の 他 3,300円

備考

- 1 盆栽は、1鉢を1点とする。
- 2 盆器、掛軸及び浮世絵は、1組を1点とする。
- 3 前2項に該当する盆栽資料以外のものは、1個を1点とする。
- 4 原板には、電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録をいう。)を含む。

別表第3(第11条関係)

(一部改正〔平成25年条例46号・31年2号〕)

施設の名称	利用区分	使用料
企画展示室	1日	8,000円
講座室	午前 (9時から12時まで)	1,980円
	午後 (13時から閉館時間まで)	1,980円
	1日	3,960円
駐車場	大型車	1台(1回につき)
	一般車	1台 (2時間を超える場合)
		超過時間30分(30分に満たないときは、30分とする。)ごとに100円を加算して得た額に100分の110を乗じて得た額

備考

- 施設等の利用の許可に係る日のうちに休館日(搬入又は搬出のために利用する日を除く。)がある場合は、当該休館日は、使用料を徴収しない。
- 企画展示室又は講座室の利用に係る搬入又は搬出に1日(講座室にあっては、午前、午後又は1日)を要する場合における企画展示室及び講座室の使用料は、当該使用料の額に100分の70を乗じて得た額とする。
- 企画展示室又は講座室の利用者が入場料その他これに類する料金(以下「入場料」という。)を徴収する場合(規則で定める場合を除く。)の企画展示室及び講座室の使用料には、当該使用料の額に次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額を加算する。
 - 1人1回について徴収する最高の入場料が1,000円未満のとき 100分の50
 - 1人1回について徴収する最高の入場料が1,000円以上のとき 100分の100
- 「大型車」とは、道路運送車両法施行規則(昭和26年運輸省令第74号。以下「省令」という。)別表第1に掲げる普通自動車のうち、貨物の運送の用に供するもの又は人の運送の用に供する乗車定員11人以上のものをいう。
- 「一般車」とは、次に掲げるものをいう。
 - 省令別表第1に掲げる普通自動車のうち、人の運送の用に供する乗車定員10人以下のもの
 - 省令別表第1に掲げる小型自動車及び軽自動車
- 使用料を計算する場合において、使用料の額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。

○さいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則

平成22年2月10日

規則第2号

改正 平成22年6月14日規則第80号

平成24年1月6日規則第1号

平成26年2月3日規則第16号

平成30年3月29日規則第47号

平成31年4月26日規則第58号

令和2年5月28日規則第80号

令和3年3月31日規則第32号

(趣旨)

第1条 この規則は、さいたま市大宮盆栽美術館条例(平成21年さいたま市条例第30号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(観覧券の交付等)

第2条 市長は、条例第5条第1項の規定により観覧料

(年間観覧料を除く。以下この項において同じ。)を納付した者に対し、観覧券を交付する。ただし、電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。)の方法により観覧料が納付されたことを確認した場合は、この限りでない。

- 市長は、条例第5条第2項に規定する観覧料の額を納付した者に対し、特別の観覧券を交付する。
- 市長は、条例第5条第1項の規定により年間観覧料を納付した者(以下「年間観覧者」という。)に対し、年間観覧券を交付する。
- 年間観覧券の有効期間は、交付の日から起算して1年とする。
- 年間観覧者は、美術館が展示する盆栽資料(条例第5条第2項に規定する特別の盆栽資料を除く。)を観覧しようとするときは、有効な年間観覧券を提示しなければならない。
- 美術館が1月以上休館する場合において、当該休館期間の開始日が年間観覧券の有効期間内に存するときは、当該休館期間(その期間に1月未満の端数がある場合には、これを1月とする。)に相当する期間を、年間観覧券の有効期間に加えるものとする。
(一部改正〔平成30年規則47号・令和2年80号〕)

(特別使用手続)

第3条 条例第6条第1項の規定により特別使用の許可を受けようとする者は、あらかじめ、特別使用許可申請書(様式第1号)を市長に提出しなければならない。

- 条例第6条第1項の許可(以下「特別使用許可」という。)は、特別使用許可書兼領収書(様式第2号)を交付して行う。
- 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、特別使用を許可しない。
 - 美術館の設置の目的に寄与すると認められないとき。
 - 盆栽資料の保存に影響を及ぼすおそれがあるとき。
 - 盆栽資料を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
 - 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
 - 前各号に掲げるもののほか、特別使用をすることが適当でないとき。

4 市長は、特別使用許可をする場合において、必要な条件を付することができる。

5 特別使用許可を受けた者は、第2項の規定による特別使用許可書の交付と引換えに特別使用料を納付しなければならない。

(施設等の利用)

第4条 条例第7条第1項の規定による施設等の利用に係る搬入又は搬出については、条例第3条第1項第1号の規定にかかわらず、木曜日に行うことができる。

(施設等利用手続)

第5条 条例第7条第3項の規定による施設等の利用の許可又は許可に係る事項の変更の許可(以下「施設等

の利用許可等」という。)を受けようとする者は、次の各号に掲げる場合に依り、当該各号に定める書類を市長に提出しなければならない。

(1) 利用の許可を受けようとする場合 利用許可申請書(様式第3号)

(2) 許可に係る事項の変更の許可を受けようとする場合 利用変更許可申請書(様式第4号)

2 駐車場及び音声ガイド機器の利用の手続については、市長が別に定める。

(一部改正〔平成24年規則1号〕)

(利用の許可)

第6条 施設等の利用許可等は、次の各号に掲げる区分に依り、当該各号に定める書類を交付して行う。

(1) 利用の許可 利用許可書兼領収書(様式第5号)

(2) 許可に係る事項の変更の許可 利用変更許可書兼領収書(様式第6号)

(使用料の納付)

第7条 施設等の利用許可等を受けた者(以下「利用者」という。)は、前条各号に定める書類の交付と引換えに使用料を納付しなければならない。

(附属設備の使用料)

第8条 条例第11条第2項に規定する規則で定める使用料は、別表に定めるとおりとする。

(観覧料等の減免)

第9条 条例第13条の規定により観覧料等を減額し、又は免除する場合及びその割合は、次のとおりとする。

(1) 教育課程に基づく学習活動として学生、生徒又は児童及びその引率者が利用する場合 100分の100

(2) 市又は市教育委員会が主催する事業に利用する場合 100分の100

(3) 埼玉県又は埼玉県教育委員会が主催する事業に利用する場合 100分の100

(4) 前3号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める場合 市長が相当と認める割合

2 前項の規定により観覧料等の減額又は免除を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料等減額(免除)申請書(様式第7号)を市長に提出しなければならない。ただし、市長が提出を要しないと認めた者については、口頭で申請することができる。

3 市長は、前項の規定による申請を適当と認めるときは、観覧料等減額(免除)承認書(様式第8号)を交付してこれを承認する。この場合において、前項ただし書の規定による申請があったときは、当該書面の交付を省略することができる。

4 市長は、第1項に規定するもののほか、年間観覧者が有効な年間観覧券を提示して条例第5条第2項に規定する特別の盆栽資料を観覧しようとするときは、同項に規定する市長が別に定める観覧料から観覧料(年間観覧料を除く。)に相当する額を減額するものとする。

(一部改正〔平成22年規則80号〕)

(使用料の還付)

第10条 条例第14条ただし書の規定により、施設等の使用料を還付する場合及びその割合は、次のとおりとする。

(1) 施設の管理上特に必要があるため、市長が施設等の利用許可等を取り消した場合 100分の100

(2) 利用者の責めに帰することができない理由により、施設等を利用することができない場合 市長が相当と認める割合

(使用料加算額の特例)

第11条 条例別表第3備考第3項に規定する規則で定める場合は、次に掲げる場合とする。

(1) 市又は市教育委員会が主催して行う事業で入場料その他これに類する料金を徴収する場合

(2) 埼玉県又は埼玉県教育委員会が主催して行う事業で入場料その他これに類する料金を徴収する場合

(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める場合

(図録等の販売の承認)

第12条 利用者が、許可を受けた施設等を利用する場合において、展示する盆栽資料に係る図録、絵はがき、ポスターその他これらに類するものを販売しようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。

(管理上の立入り)

第13条 市長は、施設の管理上必要があると認めるときは、施設等の維持のため利用されている施設に関係職員を立ち入らせることができる。

(遵守事項及び市長の指示)

第14条 市長は、美術館の入館者の遵守事項を定め、かつ、施設の管理上必要があると認めるときは、入館者に対し、その都度指示することができる。

(盆栽資料の館外貸出し)

第15条 市長は、他の美術館その他市長が適当と認めるものに対し、美術館が所蔵している盆栽資料の貸出しをすることができる。

2 前項の規定による貸出し(以下「館外貸出し」という。)を受けようとする者は、あらかじめ館外貸出許可申請書(様式第9号)を市長に提出し、許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

3 前項の許可(変更の許可を含む。)は、館外貸出許可書(様式第10号)を交付して行う。

4 館外貸出しの期間は、60日以内とする。ただし、市長は、必要があると認めるときは、これを延長することができる。

(寄贈及び寄託)

第16条 市長は、盆栽資料の寄贈(以下「寄贈」という。)及び盆栽以外の盆栽資料の寄託(以下「寄託」という。)を受けることができる。

2 寄贈又は寄託をしようとする者は、寄贈にあつては寄贈申請書(様式第11号)を、寄託にあつては寄託

- 申請書（様式第12号）を市長に提出するものとする。
- 3 市長は、寄贈又は寄託を受けることを決定したときは、前項の規定により申請をした者に対し、寄贈にあつては受領書（様式第13号）を、寄託にあつては受託書（様式第14号）を交付する。
- 4 寄託を受けた盆栽以外の盆栽資料（次項において「寄託品」という。）は、美術館が所蔵する盆栽資料と同様の取扱いをするものとする。ただし、その館外貸出しについては、寄託をした者の承認を得なければならない。
- 5 市長は、寄託品に災害その他の不可抗力による損害があつたときは、その責めを負わない。

（指定管理者に関する読替え）

第17条 条例第17条の規定により指定管理者が施設の管理に関する業務を行う場合についての第2条第1項から第3項まで、第3条第3項から第5項まで、第5条第1項、第7条、第9条第2項、第10条第1号、第13条並びに第14条の規定の適用については、これらの規定中「市長」とあるのは「指定管理者」とする。

（その他）

第18条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成22年3月28日から施行する。

附 則（平成22年6月14日規則第80号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成24年1月6日規則第1号）

この規則は、平成24年1月13日から施行する。

附 則（平成26年2月3日規則第16号）

（施行期日）

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則別表の規定は、この規則の施行の日以後の利用に係る使用料について適用し、同日前の利用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成30年3月29日規則第47号）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年4月26日規則第58号）

（施行期日）

1 この規則は、平成31年10月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則別表の規定は、この規則の施行の日（以下「施行日」という。）以後の附属設備の利用に係る使用料で施行日以後に納付するものについて適用し、施行日前の附属設備の利用に係る使用料で施行日前又は施行日以後に納付するもの及び施行日以後の附属設備の利用に係る使用料で施行日前に納付するものについては、なお従前の例による。

附 則（令和2年5月28日規則第80号）

（施行期日等）

1 この規則は、公布の日から施行し、この規則による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則第2条第6項の規定は、令和2年3月2日（以下「適用日」という。）から適用する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則第2条第6項の規定は、適用日以後に有効期間が満了する年間観覧券について適用し、適用日前に有効期間が満了した年間観覧券については、なお従前の例による。

附 則（令和3年3月31日規則第32号）

（施行期日）

1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定により作成されている様式については、当分の間、使用することができる。

別表（第8条関係）

（一部改正〔平成24年規則1号・26年16号〕）

1 企画展示室の附属設備の使用料

附属設備の名称	単位	使用料（1日につき）	備考
スポットライト	1台	50円	
AV装置	1式	2,780円	

2 講座室の附属設備の使用料

附属設備の名称	単位	使用料（1回につき）	備考
移動展示パネル	1台	50円	
拡声装置	1式	590円	CDプレーヤー、カセットプレーヤー及びマイクを含む。

3 その他の附属設備の使用料

附属設備の名称	単位	使用料（1回につき）	備考
音声ガイド機器	1台	310円	
DLPプロジェクター	1式	1,040円	アジャスターテーブルを含む。
移動式スクリーン	1台	200円	
持込み電気器具用電源	1キロワット	100円	単位は、持込み器具1台につき表示された消費電力による。1キロワットに満たない場合は、1キロワットとする。

備考 この表による使用料は、条例別表第3に規定する使用料の利用区分に従い、同表の午前又は午後の利用をもって1回、同表の1日の利用をもって2回として計算する。ただし、企画展示室の附属設備の使用料は1日の利用を1回として計算する。

様式 略

さいたま市規則56号

さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会規則

（趣旨）

第1条 この規則は、さいたま市附属機関の設置等に関する条例（平成26年さいたま市条例第2号）第6条の規定に基づき、さいたま市大宮盆栽美術館運営委員

会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（委員長及び副委員長）

第2条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第3条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 会議の議長は、委員長をもって充てる。

3 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

4 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者に対し、出席を求めて説明若しくは意見を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

（会議の公開）

第4条 委員会の会議は、公開とする。ただし、出席した委員の過半数の同意を得たときは、公開しないことができる。

（庶務）

第5条 委員会の庶務は、スポーツ文化局において処理する。

（一部改正〔平成27年規則36号〕）

（委任）

第6条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月20日規則第36号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

さいたま市条例26号

さいたま市盆栽資料等選考評価委員会条例

（設置）

第1条 市長の諮問に応じ、大宮盆栽美術館に収蔵する盆栽その他美術品等（以下「盆栽資料等」という。）の収集に係る選考及び評価に関し必要な事項について調査審議するため、さいたま市盆栽資料等選考評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（組織）

第2条 委員会は、委員6人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験を有する者のうちから、市長が委嘱する。

（任期）

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（臨時委員）

第4条 委員会に、盆栽資料等の収集に係る選考及び評価に当たって特別の事項を調査審議させるため、臨時委員を置くことができる。

2 臨時委員は、学識経験を有する者のうちから、市長が委嘱する。

3 臨時委員の任期は、特別の事項に関する調査審議が終了するまでとする。

（委員長）

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

（会議）

第6条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 会議の議長は、委員長をもって充てる。

3 委員会は、委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

4 委員会の議事は、出席した委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 委員長が必要と認めるときは、委員及び議事に関係のある臨時委員以外の者に対し、出席を求めて説明若しくは意見を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

6 選考又は評価の対象となる盆栽資料等に係る直接の利害関係を有する委員及び議事に関係のある臨時委員は、その会議に参加することができない。

（会議の公開）

第7条 会議は、公開とする。ただし、盆栽資料等の選考及び評価に係る審議の手續は、公開しない。

（守秘義務）

第8条 委員会の委員及び臨時委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

（庶務）

第9条 委員会の庶務は、スポーツ文化局において処理する。

（委任）

第10条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

さいたま市大宮盆栽美術館 年報 第15号

発行日 令和8年(2026)3月31日
編集・発行 さいたま市大宮盆栽美術館
〒331-0804 さいたま市北区土呂町2-24-3
電話 048-780-2091
FAX 048-668-2323
印刷 株式会社 エビス

本冊子は、100部発行し、1部あたりの印刷経費は2,970円です。



さいたま市 大宮盆栽美術館